

# 第4回 学生生活実態調査

—追加調査—

2020年1月実施

新見公立大学・新見公立短期大学

# もくじ

調査の概要	2
調査結果	
<A>基本事項	4
<B>住居・地域	5
<C>学生生活	14
<D>安心・安全	28
学生生活実態調査票	38
集計表	
<A>基本事項	42
<B>住居・地域	43
<C>学生生活	47
<D>安心・安全	53
あとがき	55

# 調査の概要

## 1. 調査主体

学生生活委員会が調査内容の検討を行い、集計した。

## 2. 調査目的

現在、新見公立大学・短期大学（以下、「本学」という）は、完全四年制大学化に向けて Wi-Fi の強化、新校舎の整備、新見駅西エリア学生住居計画などのハード面と、諸規程などソフト面を整備している最中であるが、そこに学生の意見を反映させるためには、2019 年 10 月に実施した第 4 回学生生活実態調査（以下、「先行調査」という）の結果をより深く検討したり、新たな質問項目を設定して詳細な実態を明らかにする必要性が生じてきた。そこで今回、追加調査を行うことにしたものである。

## 3. 調査対象および方法

この調査は先行調査と同様、本学に在籍する学生うち、休学者を除いた 461 人全員を対象として実施する予定だった。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大の対応を行ったため、短期大学幼児教育学科 2 年生は調査を行うことができなかった。このことから今回の調査対象者数は 406 人となった。なお、大学院生および助産学専攻科学生は対象者数が少なくプライバシーの確保が困難であり、また学部・学科生との一律的な比較も困難であることから今回も調査対象としなかった。

実施にあたっては、学生生活委員が調査主旨を説明した上で調査票及び回答用マークシートを配布し、無記名のマークシートのみを回収した。配布時には回答は学生自由意思によるものであって強制ではないこと、調査票提出の有無や記載内容によって学生が利益、不利益を被らないことを明示して実施した。

## 4. 調査内容

先行調査の結果を踏まえた上で、他委員会等で実施している調査内容との重複をできるだけ省いて実施した。その内容は、住居・地域、学生生活、安心・安全に関する事項に及んだ。

なお、該当学生数が少なく、個人が特定されるおそれのある項目については調査項目から除外、あるいは他項目と合計して集計するなど、プライバシーに対する配慮を優先した。

## 5. 規準日

2020 年 1 月 1 日を基準日として実施した。

## 6. 調査票回収状況

調査対象 406 件うち 368 枚のマークシートを回収した。回収率は 90.6%であった。

## 7. 今後の課題

先行調査の結果と今回の調査結果を踏まえて、学生の実態に即した完全四年制大学化を実現することが何よりもの課題である。

また、学生実態を的確に把握するため、先行調査結果を基礎に 4 年に 1 度をめどとして引き続き調査を実施することが必要であるとする。

# 追加調査結果

## A. 基本事項

### 【追】A-1・2 回答者

調査時点（2020年1月1日）における、各学部・学科、年次別の学生数（休学生を除く）は【追】図表A-1・2に示すとおりである。調査票を提出した学生は368人であった。今回の回答率は90.6%であり、2019年10月に実施した「2019年度学生生活実態調査」（以下、「先行調査」という。）の回答率91.8%と比して遜色ないことから、調査の信頼性は高いと判断できる。

ただし、短期大学幼児教育保育学科2年生は、調査予定時期に流行が拡大し始めた新型コロナウイルス感染症への対策を行った影響で集合調査を実施することができず調査を断念した。したがって、本調査における当該学科の回答は健康保育学科1年生のみに限られていることに留意する必要がある。

なお、大学院生・助産学専攻科生については、対象者数が少なくプライバシーの確保が困難であること、および学部・学科の学生と一律に比較することが困難であることにより、先行調査と同様に今回も調査対象から除外した。

【追】図表A-1・2 回答者

		看護学科					健康保育学科		地域福祉学科			合計
		四大					四大	※3	四大	短大	計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年	計	
回答者	実数	76	55	57	48	236	45	45	50	37	87	368
回答率 ※1	%	92.7%	87.3%	90.5%	78.7%	87.7%	95.7%	95.7%	98.0%	94.9%	96.7%	90.6%
		100.0%	98.4%	82.5%	68.9%	88.5%	95.7%	96.1%	98.0%	94.9%	96.7%	91.8%
学生数	実数※2	82	63	63	61	269	47	47	51	39	90	406

※1：（ ）内は、2019年10月1日を基準日として実施した先行調査の回答率である。

※2：学生数は休学生を除く。

※3：短期大学幼児教育保育学科2年生は新型コロナウイルス感染症対策の影響で調査を実施することができず。

## B. 住居・地域

### 【追】B-3 今の住居に満足している理由

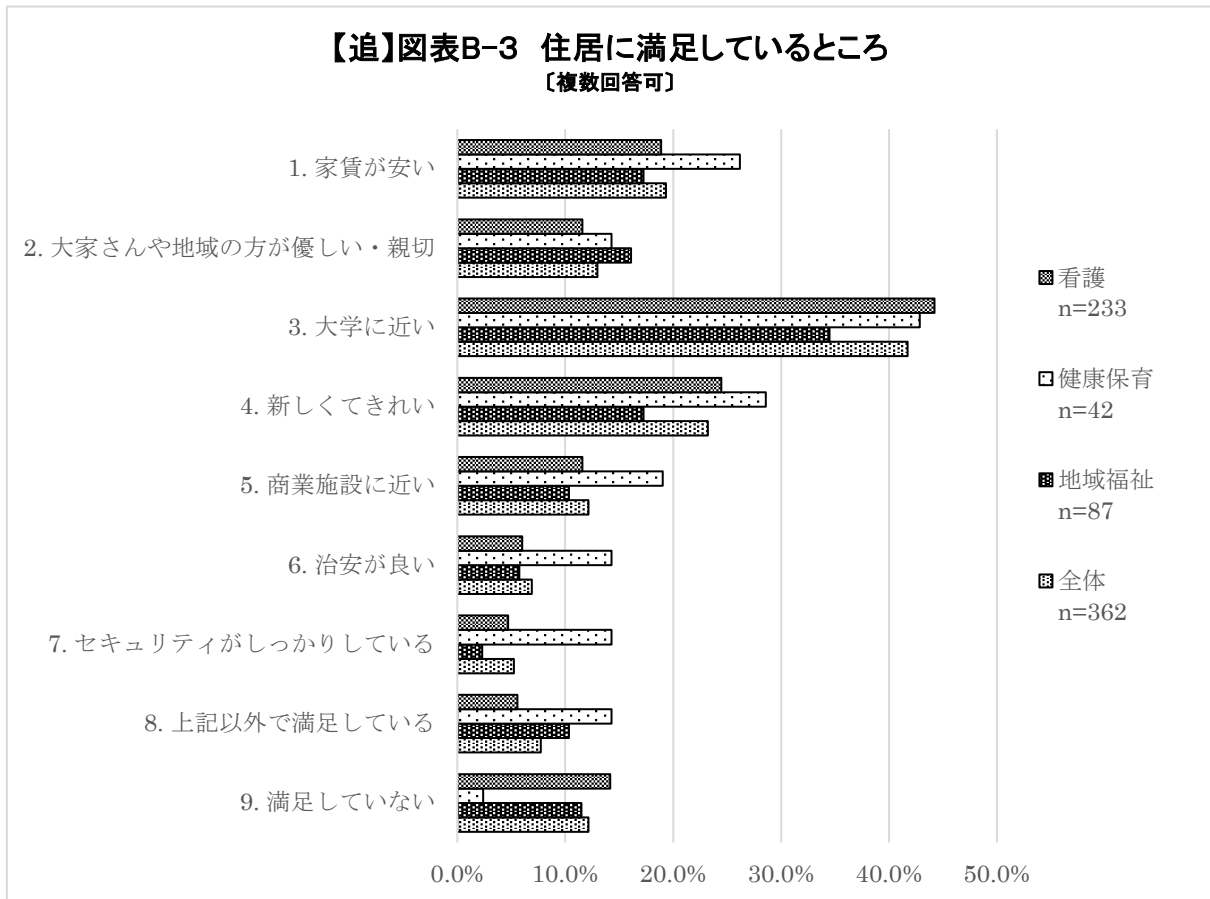
\* 複数回答可

先行調査によると、学生の〈出身高校の所在地〉〔先行調査番号：B-3〕は80.9%が岡山県外であり、〈居住形態〉〔B-6〕は88.0%がアパート・マンション・シェアハウスなどに居住する、いわゆる下宿生であった。こうした本学学生の特性は今後も継続すると考えられることから、学生の住居に関するニーズを明らかにするため【追B-3・4】を設問した。

先行調査では、〈住居の住み心地〉〔B-10〕について、81.2%の学生が「(非常に)満足」「特に不満は無い」と回答しており、今回の調査ではその理由を補足的に質問した。

その結果、今の住居に満足している理由は、学科・学年によらず「大学に近い」ことを挙げた学生が41.7%と最も多く、次いで「新しくきれい」の23.2%、「家賃が安い」の19.3%などであった。他方、「満足していない」と回答した学生は12.2%であった。

学生は、通学の利便性と清潔感、それに経済面を重視していることが分かる。



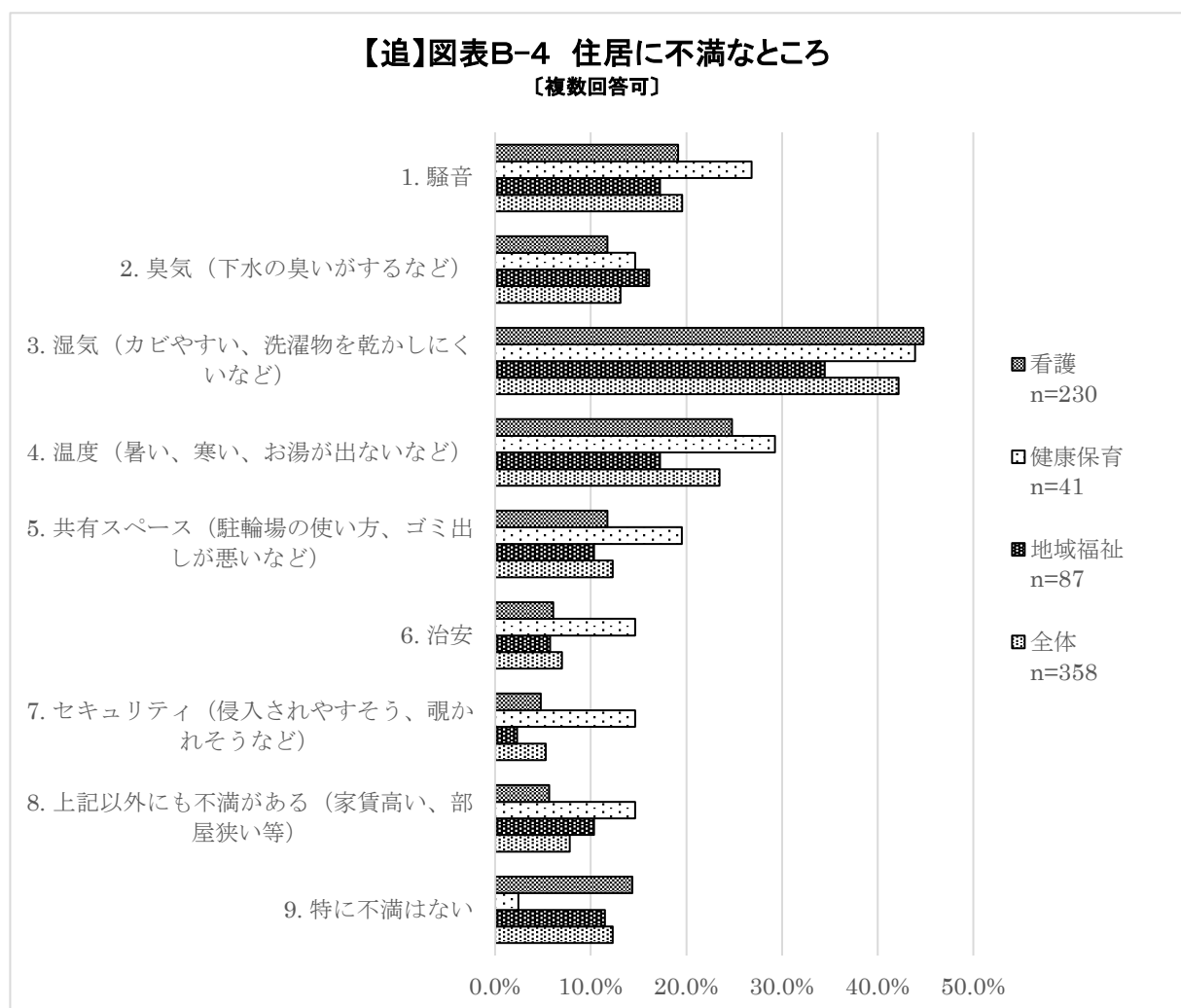
## 【追】B-4 今の住居に不満な理由

\* 複数回答可

先行調査では、〈住居の住み心地〉〔B-10〕について17.5%が「(非常に)不満」と回答しており、〈不満な理由〉〔B-11〕は「騒音・日照・臭気等の環境が悪い」が23.5%と最多であった。そこで今回は、不満な理由を詳細に把握するため、環境面を中心に再度理由を質問した。

その結果、住居への不満は「湿気(カビやすい、洗濯物を乾かしにくいなど)」が42.2%と最も多く、次いで「温度(暑い、寒い、お湯が出ないなど)」の23.5%、さらに「騒音」の19.6%と続いた。なお、これらの傾向について学科・学年による特徴はみられなかった。一方、「特に不満はない」と回答した学生は12.3%であった。

新見地域の気候条件によるところもあろうが、空調や機器類など設備整備に関する事項も多く見られた。いずれにしても学生は、より清浄な居住環境を求めていることが窺われる。



## 【追】B-5 平日はどこにいるか(大学・アルバイト先を除く)

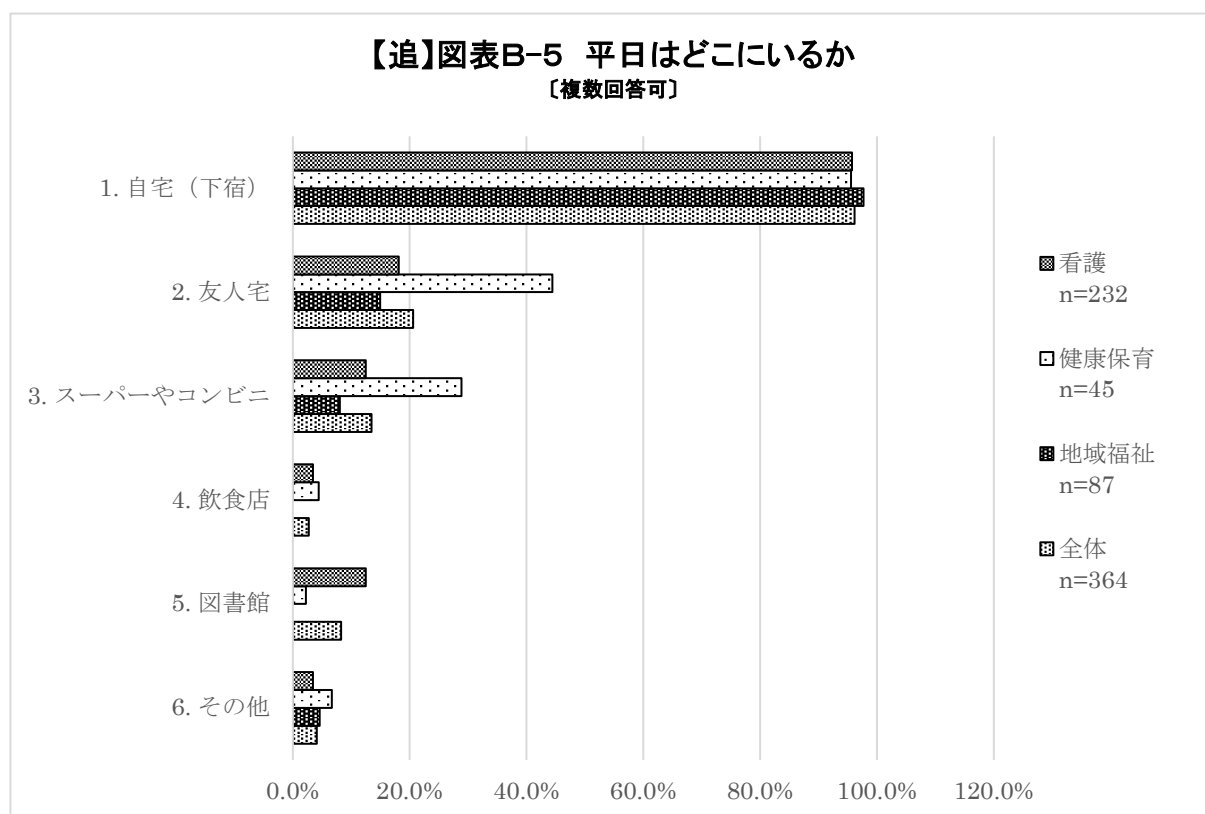
\*複数回答可

追加調査の目的の一つは、完全四大化に伴う学生生活支援にある。先行調査をはじめ、これまでの学生生活実態調査では学外の生活について専ら〈アルバイト〉〔D-14～21〕を中心に質問してきたところである。しかし、完全四大化が進めば授業の空き時間や空き曜日が生じ、学外でアルバイト以外の時間が増すことも予測される。そこで今回の調査では、【追】B-5・6で学外での地域生活について質問した。

その結果、平日の居場所は、学科・学年を問わず「自宅（下宿）」が圧倒的に多く96.2%を占めた。他は「友人宅」の20.6%、「スーパーやコンビニ」13.5%、「図書館」8.2%の順であった。

この内、「自宅（下宿）」と回答した学生は学科・学年を問わず最多だったが、「友人宅」「スーパー・コンビニ」と回答した学生は3学科ともに1年生が他学年に比して2倍程度多かった。また「図書館」と回答した学生は看護学科（12.5%）に多く、健康保育学科（2.2%）、地域福祉学科（0.0%）と差異が生じた。

授業やアルバイトの無い平日は、自宅（下宿）や友人宅などの居室内で過ごす傾向にあるといえよう。





**【追】B-6 休日はどこにいるか(大学・アルバイト先を除く)**

**\* 複数回答可**

休日の居場所も、「自宅（下宿）」が 92.1%と圧倒的多数を占め、以降は「新見市外へ行く」の 24.7%、「友人宅」の 23.8%、「スーパーやコンビニ」の 14.8%、「図書館」の 8.5% などであった。

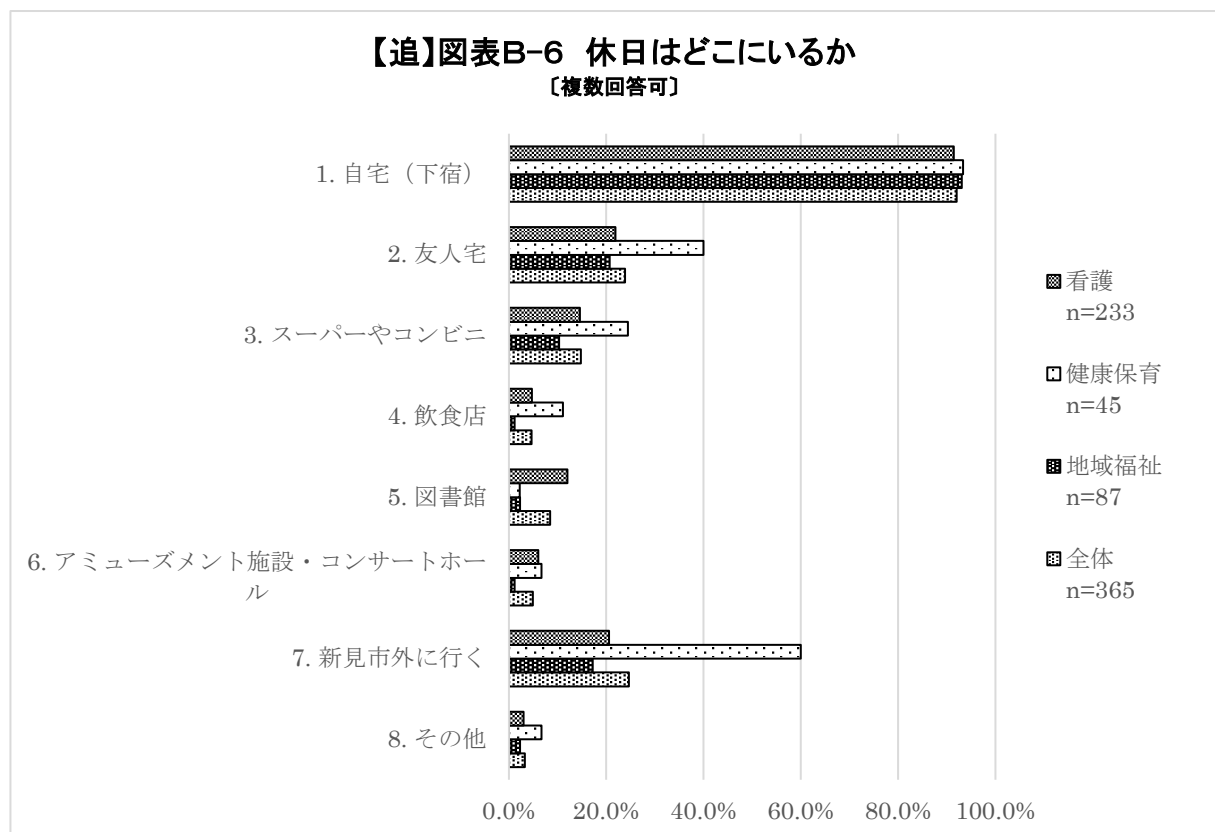
新見市内での居場所は、先の【追】B-5と同様の回答傾向を示しており、「自宅（下宿）」を筆頭に、「友人宅」「スーパー・コンビニ」は各学科1年生に、また「図書館」は看護学科に多かった。

他方、「新見市外へ行く」は休日に特徴的な行動である。もっとも、同様の傾向は新見市民に広く見られるものである。例えば《地域経済分析システム（RESAS）》による2019年6月現在の新見市の滞在人口比率（休日）は、早朝から市人口を滞在人口が下回り、特に10歳代が健著であることから明らかである。

なお、学生の新見市外の行き先については【追】B-10に詳しい。

《参考》地域経済分析システム（RESAS）による新見市の滞在人口率：14時（2019年6月）

日	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	全世代
平日	0.79	1.02	0.99	1.14	0.90	1.00	0.98
休日	0.76	0.94	0.94	1.04	0.86	1.01	0.95



## 【追】B-7 新見地方に生活して良いと思うことは

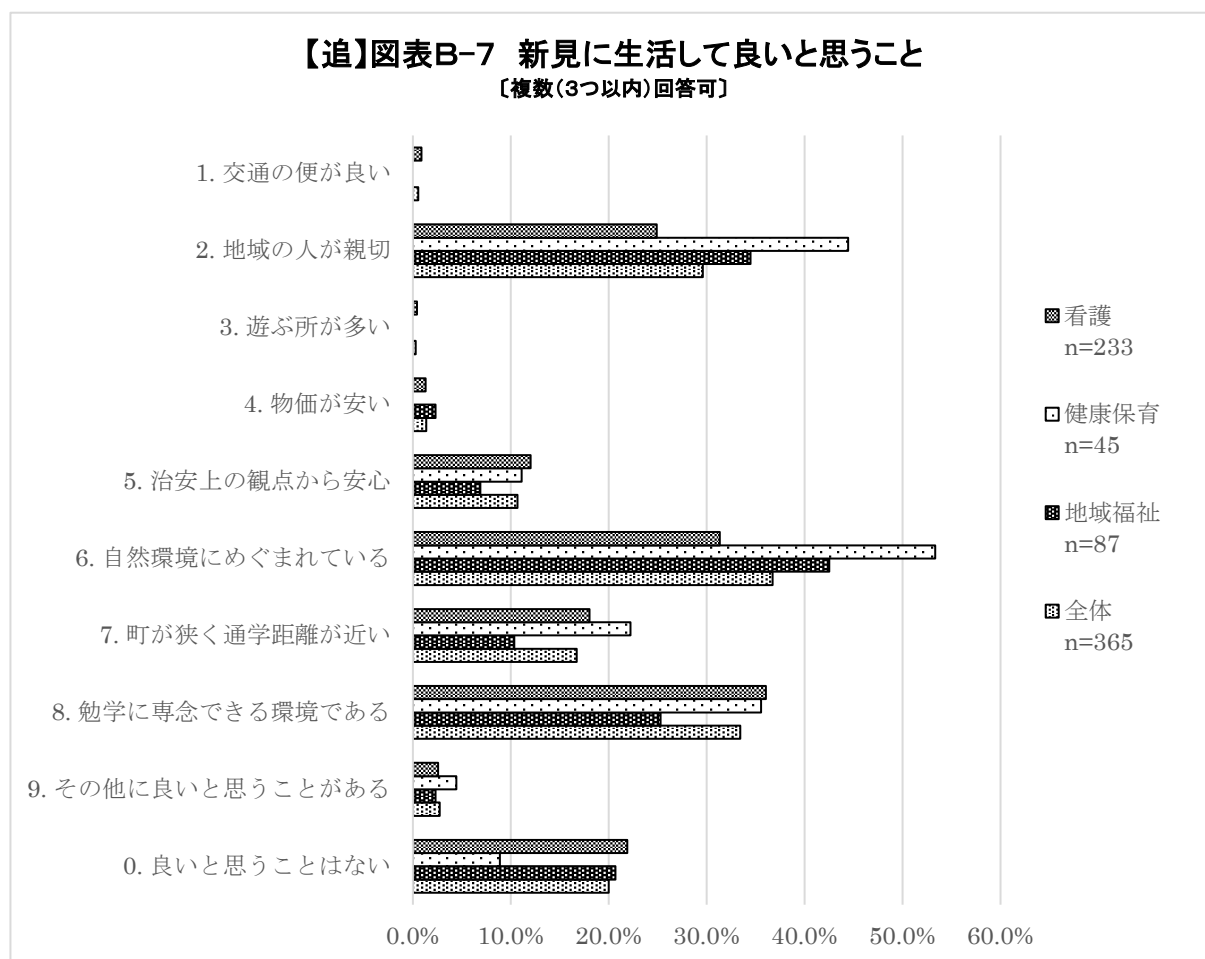
\* 複数(3つ以内)回答可

先行調査では〈新見市の暮らしやすさ〉〔H-67〕を質問しているが、その結果は「(とても)暮らしやすい」が42.8%、「暮らしにくい(暮らしやすくない)」が54.1%と否定意見が上回った。そこで今回は単刀直入に生活の善し悪しを質問して詳細を把握することとした。

新見地方に生活して良いと思うところは、地勢からも明らかなおり「自然環境に恵まれている」が36.7%と最も多く、次いで「勉学に専念できる環境である」の33.4%、さらに「地域の人が親切」の29.6%などであった。

この内、「自然環境に恵まれている」「地域の人が親切」などについては、学生に限らず新見市民の各年代層が挙げる事項である(「平成30年度新見市まち・ひと・しごと創成総合戦略アンケート」結果から「新見市の好きなおとこ」と比較)。

その一方で「良いと思うことは無い」と回答した学生も20.0%いた。



## 【追】B-8 新見地方に生活して良くないと思うことは

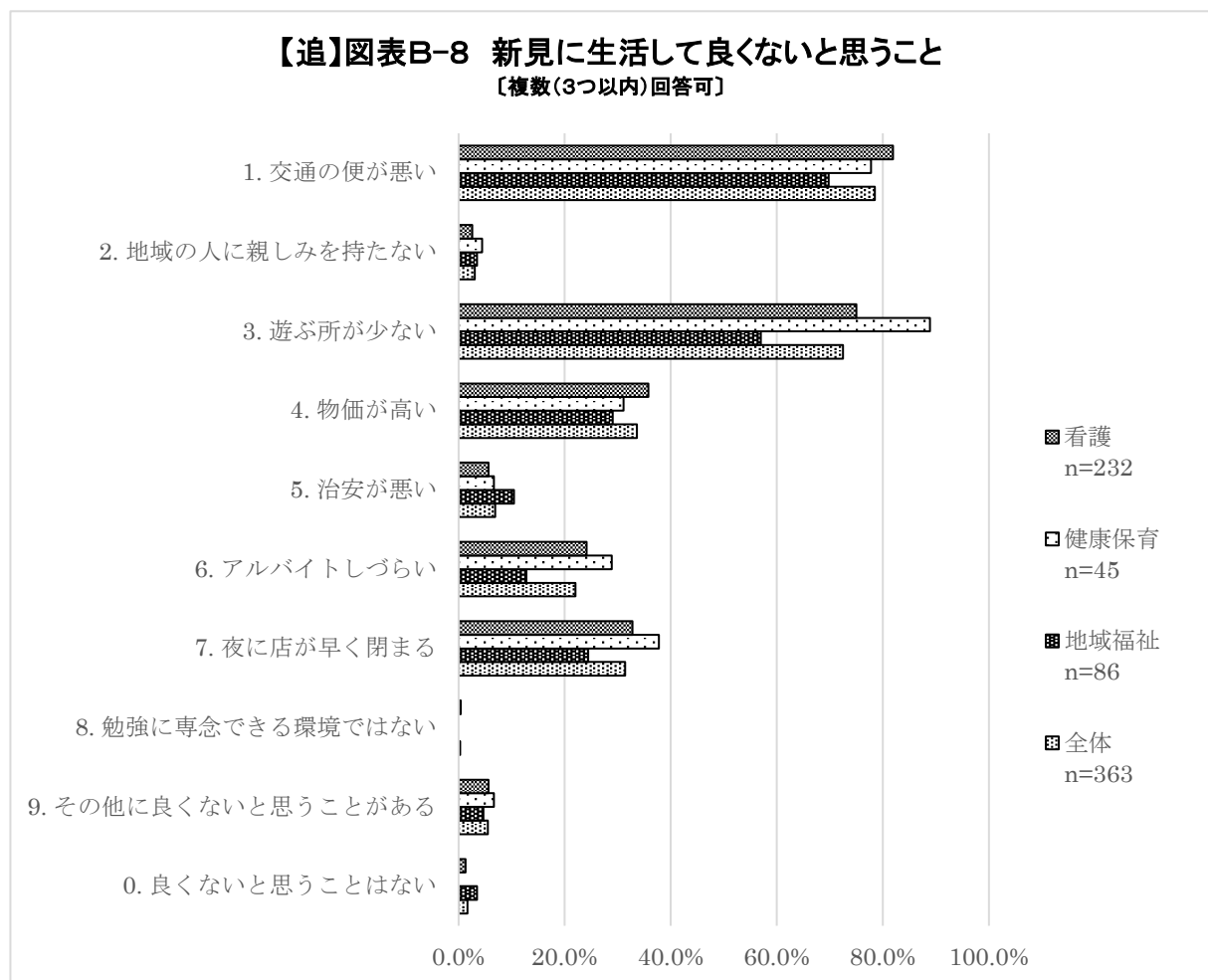
\* 複数(3つ以内)回答可

他方、生活して良くないと思うことは「交通の便が悪い」(78.5%) および「遊ぶ所が少ない」(72.5%) が突出して多く、以降は「物価が高い」(33.6%)、「夜に店が早く閉まる」(31.4%)、「アルバイトしづらい」(22.0%) などであった。

先の【追B-7】と同様に、こうした傾向も新見市民の各年代層と似た傾向にあり(同「新見市の好きではないところ」と比較)、とりわけ中学生、高校生を対象としたアンケート結果とは概ね一致している。つまり、若者に共通する課題だといえよう。

なお、「良くないと思うことは無い」と回答した学生は1.7%であった。

ところで、これらの課題は新見市における積年の課題であることから、容易に解決し得るものではあるまい。市全体として計画的に取り組む必要があることは、敢えて言及するまでもない。



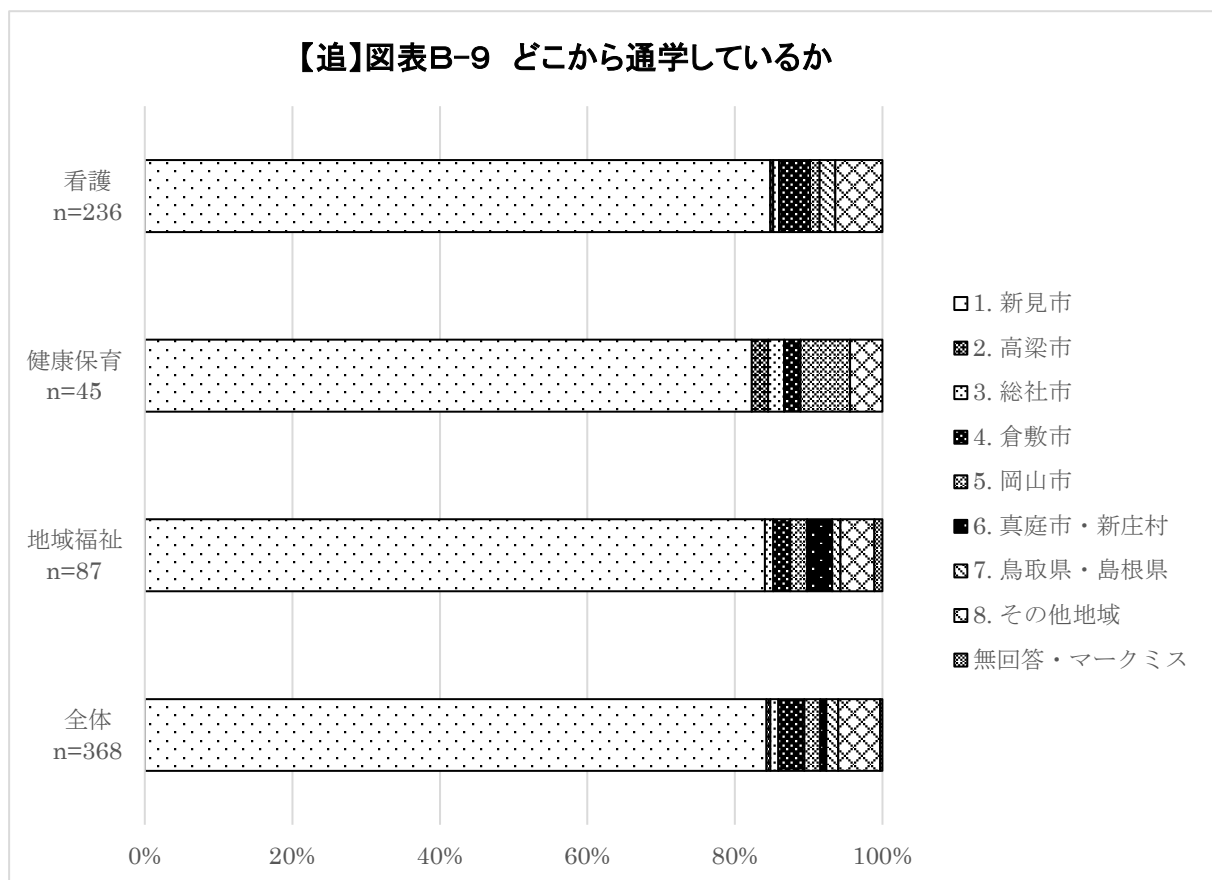
## 【追】B-9 どこから大学に通学しているか

先行調査の〈出身高校の所在地〉〔A-3〕から、学生の出身地を大方類推することは可能である。しかしながら私立高校や越県入学制度を執る高校では、必ずしも高校の所在地と学生の出身地が一致しないことから、今回の調査で通学の起点をより具体的に把握することとした。なお、この質問はあくまでも通学や学外生活にかかる学生支援に資するため行うものであり、他意は無いことをあらかじめ付記しておく。

その結果、「新見市」が84.2%を占めた。他方、市外からの通学者は15.4%であり、その起点は倉敷市(3.5%)、岡山市(2.2%)、鳥取県・島根県(1.6%)、総社市(1.1%)、真庭市(0.8%)、高梁市(0.5%)と「その他の地域」(5.7%)であった。

先行調査〈居住形態〉〔B-6〕によると、88.0%の学生が下宿生活を送っていることから、「新見市」内から通学している学生の大半は下宿生だと類推される。

本学学生は、こうして市内からの近距離通学者が大半を占める一方で、自宅(実家)からの通学者は片道100km前後の長距離通学者が多い。長距離通学者の多くがJR線を利用していると考えられることから、完全四大化に伴ってJR線利用者の更なる増加も予想される。しかし、現ダイヤで伯備線には特急「やくも」が1時間に1本運行しているものの、学生の多くが利用する普通列車は岡山⇄新見間が2時間に1本程度、米子⇄新見間に至っては3時間に1本程度しか運行していない。また、姫新線(津山・備中勝山⇄新見)や芸備線に至っては日に数本程度の運行であることから運行本数の確保が課題であろう。



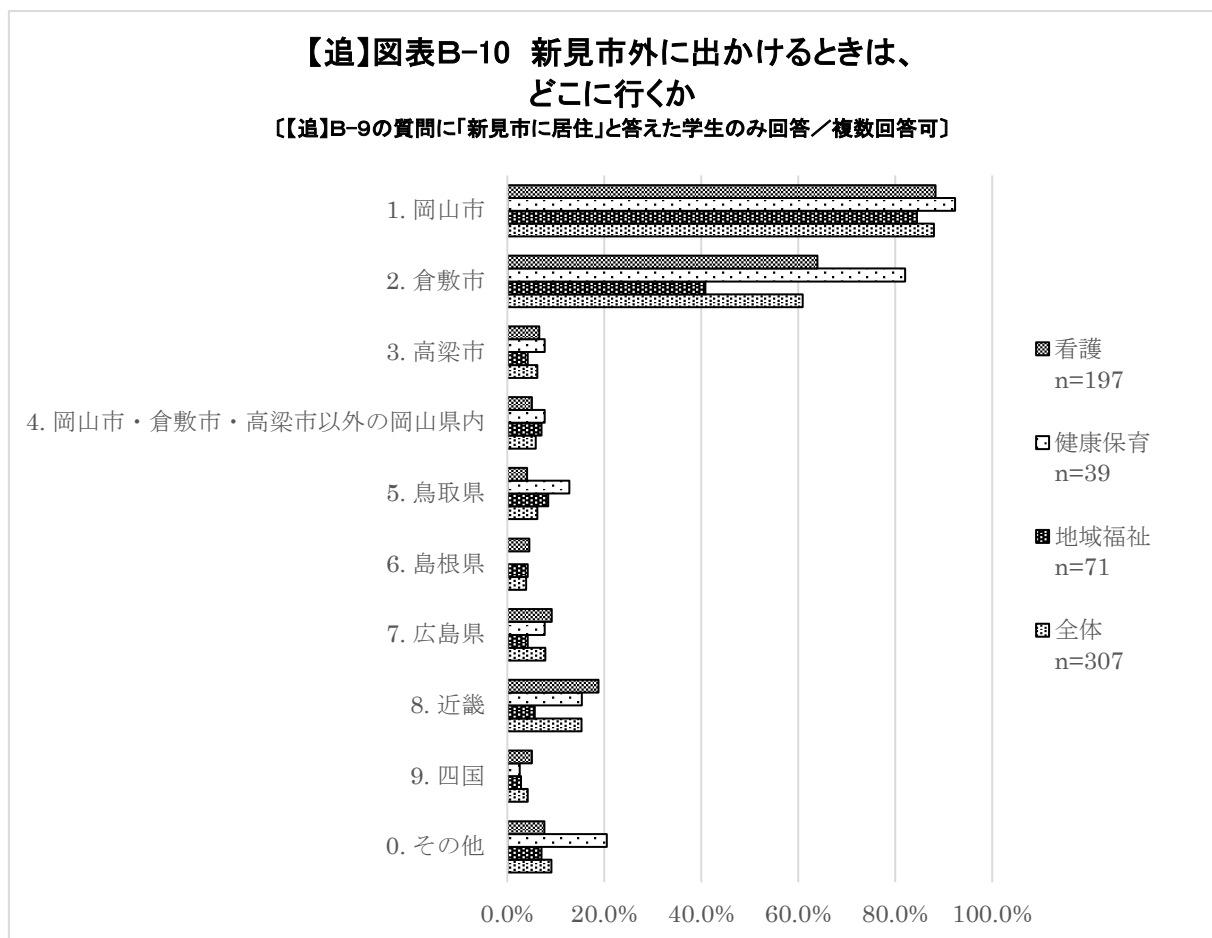
## 【追】B-10 新見市外に出かけるときは、主にどこに行くか

\*【追】B-9の質問に「新見市に居住」と答えた学生のみ回答／複数回答可

〈休日の居場所〉【追】B-6の質問に明らかなおり、休日「市外へ行く」学生が24.7%いた。そこで、市外へ出かける際の行き先(市町村)を質問したところ以下の通りであった。

新見市外の出かけ先は、「岡山市」(87.9%)と倉敷市(60.9%)が大半を占めた。次いで「近畿地方」の15.3%、「広島県」の7.8%、「高梁市」「鳥取県」の各6.2%と続いた。

つまり、市外へ出かける学生の行き先は岡山市、倉敷市を中心とする岡山県南が主流である。この傾向についても新見市民の消費行動として予めから県南の大型ショッピングモールなどへの流出が指摘されてきたところであり、新見市民に共通する傾向だといえよう。



## 【追】B-11 新見市外へ出る際の移動手段は

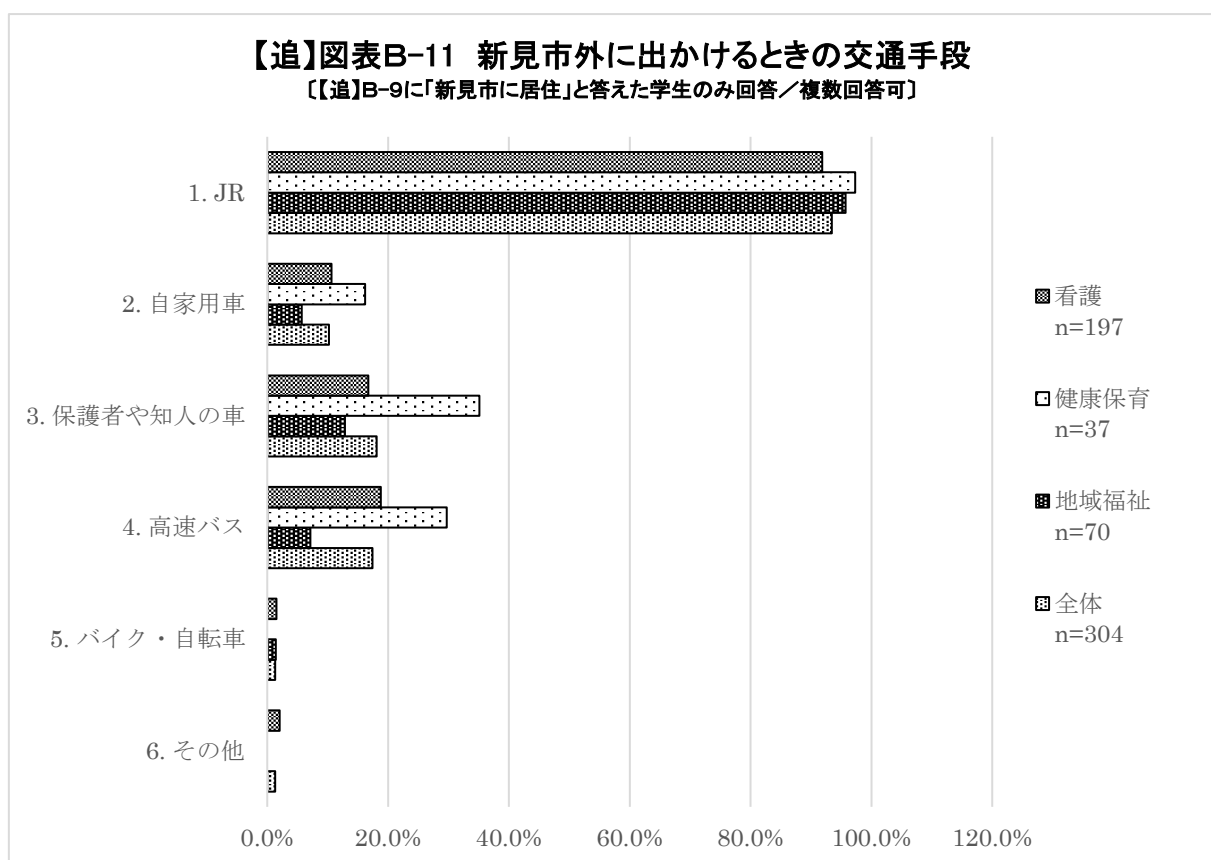
\*【追】B-9の質問に「新見市に居住」と答えた学生のみ回答／複数回答可

前質問に関連して、新見市外へ出掛けるときの移動手段を質問した。

その結果、「JR」が93.4%と圧倒的に多かった。次いで「保護者や知人の車」の18.1%と「高速バス」の17.4%、さらに自家用車の10.2%などであった。

新見市内在住者の大半が下宿生である本学の特性に鑑み、JR利用者が多くを締めるのは自ずと頷けよう。逆に自家用車が少数である理由も同様である。

なお、平成30年に発生した西日本豪雨時にJR線が1ヵ月以上に渡って不通となった際、学生が市内から出られず苦心した記憶は新しい。非常時も視野に、また平時であっても利便性（選択制）確保の観点から、第二の移動手段の確保を検討する必要はなかろうか。



## C. 学生生活

### 【追】C-12 大学への要望

\* 複数回答可

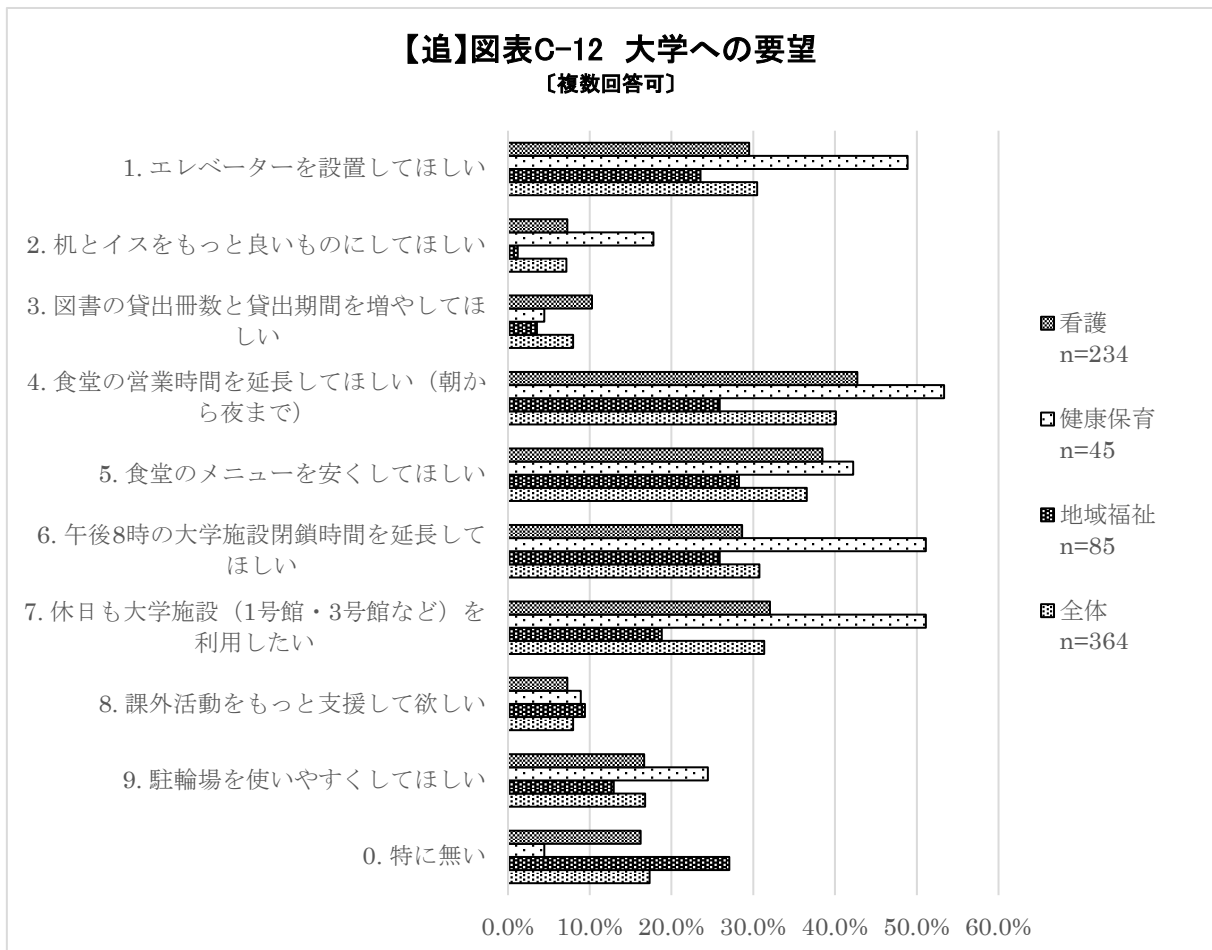
今回の追加調査の目的の一つに、完全四大化に向けての施設整備がある。そこで、改めて大学への要望を質問した。

その結果、最も多かったのは「食堂の営業時間を延長してほしい(朝から夜まで)」(40.1%)、次いで「食堂のメニューを安くしてほしい」(36.5%)と上位群を学生食堂が占めた。

次に「休日も大学施設(1号館・3号館など)を利用したい」(31.3%)、「午後8時の大学施設閉鎖時間を延長してほしい」(30.8%)、「エレベーターを設置してほしい」(30.5%)など、施設利用に関する項目が挙げられた。

なお、上位項目については看護学科の2年生、3年生をピークとして、また、健康保育学科1年生からも多くの要望が挙げられた。

これらの項目はいずれも四年制大学移行期にありがちな要望であるといえよう。また、エレベーターの設置は障がいのある学生への合理的配慮の観点からも必須の検討事項であろう。



### 【追】C-13 平日1日あたりの授業を除く勉強時間(予習、復習、課題等)

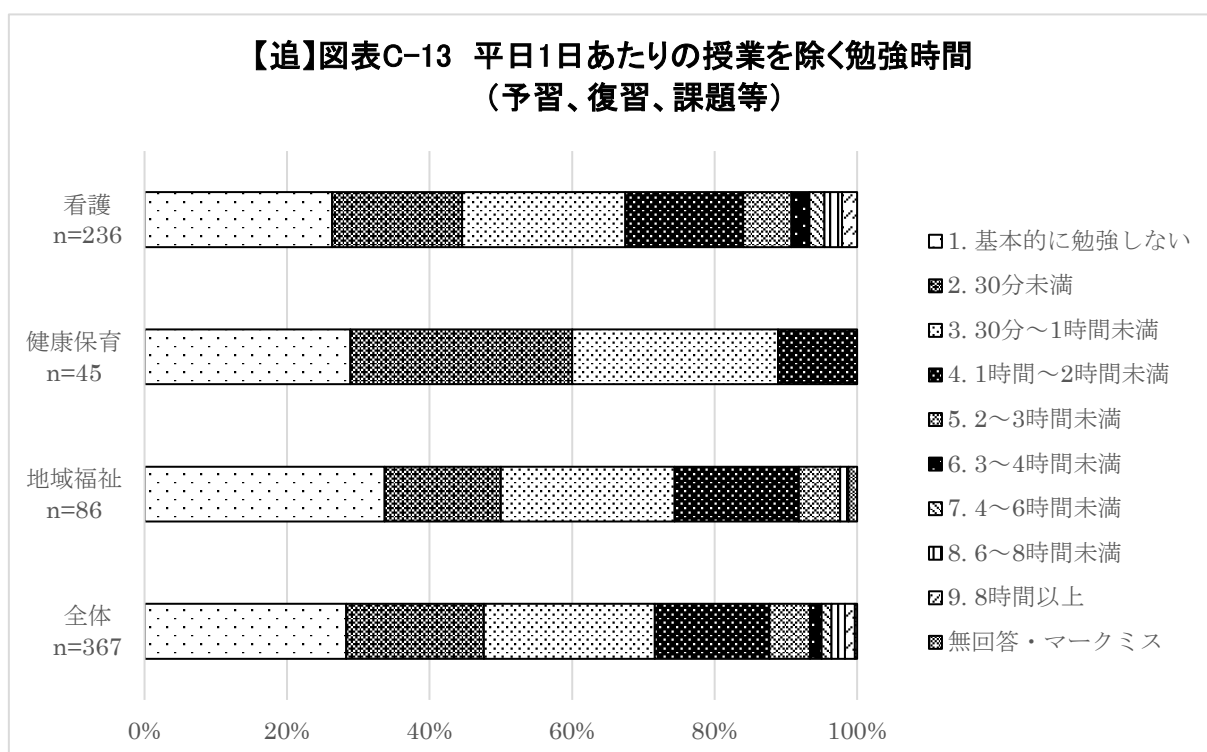
先行調査で〈平日の平均学修時間〉〔E-22〕を質問したところ、「2時間未満」が51.8%と半数以上を占めた。同じく、〈1週間の予習・復習・課題を行う時間〉〔E-23〕についても「学修しない」(10.4%)を含めて0時間～2時間未満が65.2%にも上った。そこで今回の調査では、学修時間が低調な理由を明らかにするため【追】C-13・14を設問した。

まずは、改めて1日あたりの授業を除く勉強時間を質問したところ、「基本的に勉強しない」が28.3%と最も多かった。次いで「30分～1時間未満」の24.0%、「30分未満」の19.3%、「1時間～2時間未満」の16.1%の順であった。以降、「2時間～3時間未満」は5.7%と大きく減少することから、多くの学生の授業外勉強時間は0時間～2時間未満(87.7%)であった。

なお、先行調査と比して「勉強(学修)しない」は17.9ポイント上がり、それを含む0～2時間未満は22.5ポイントも上がった。

学科・学年別に「基本的に勉強しない」と答えた学生が最も多かった学科は地域福祉学科の33.7%であり特に2年生は45.9%と約半数の学生が授業外に勉強していない。また、看護学科は2年生(32.7%)と3年生(35.1%)が他学年に比べて多かった。

他方、看護学科は4年生になると「基本的に勉強しない」と回答した学生が10.4%と極端に減少した。ちなみにこの割合は全学科・学年で最低値であった。その逆に、看護学科4年生は3時間以上勉強する学生の割合が6.3%～12.5%であり他学科・学年に比して高い。調査基準日が看護師、保健師などの国家試験を間近に控えた時期だったこともあろうが特徴的である。



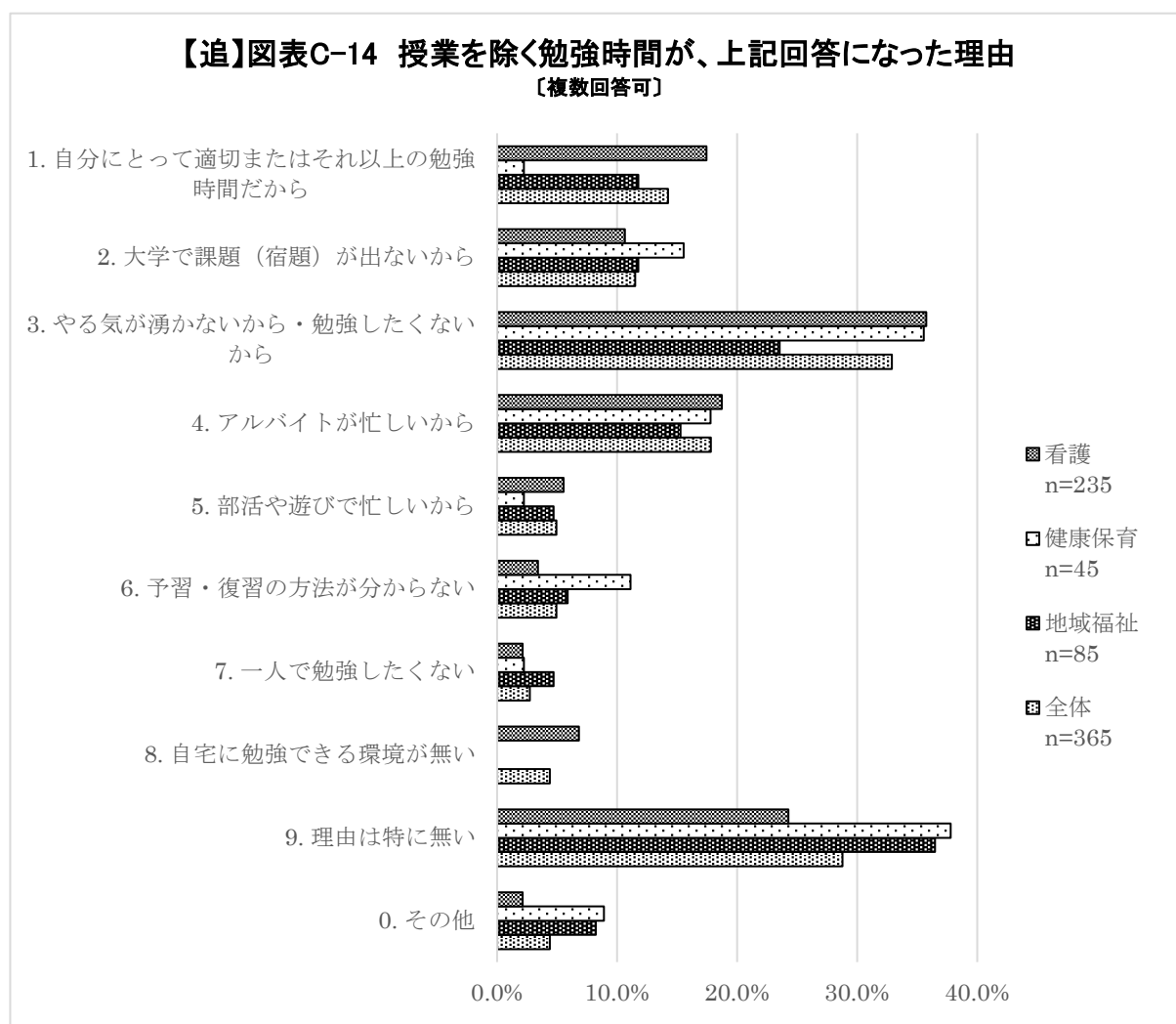


## 【追】C-14 授業を除く勉強時間が、質問(13)の回答になった理由

\* 複数回答可

授業を除く勉強時間が先の回答に至った理由を質問した結果、全体では「やる気が湧かないから・勉強したくないから」が32.9%と最も多く、次いで「理由は特に無い」の28.8%、「アルバイトが忙しいから」(17.8%)、「自分にとって適切またはそれ以上の勉強時間だから」(14.2%)などであった。

ただ、看護学科4年生は「自分にとって適切またはそれ以上の勉強時間だから」(39.6%)が最も多く、健康保育学科(37.8%)と地域福祉学科1年生・2年生(30.6%・44.4%)は「理由は特に無い」が最多回答になった。ちなみに看護学科1年生も30.3%が「理由は特に無い」を挙げており、総じて1・2年生は理由なく授業外に勉強をしていないようである。いわんや入学後の導入教育の重要性が窺われよう。



## 【追】C-15 アルバイトをする時間

\* 複数回答可

先行調査では〈アルバイトをする理由・見つけ方・職種・平均従事日数・曜日・時間数・収入〉〔D-14～21〕を質問した。この内、曜日と時間の関係を詳らかにするため、今回の調査でアルバイトをする時間帯を詳細に質問した。

その結果、アルバイトは「土・日・祝日」にする学生が51.8%、次いで「平日の5限終了から22時まで」が48.8%、「決まった時間帯は無い」が22.5%の順であった。他方、「平日の朝4時から1限の開始まで」にアルバイトをしている学生は5.2%であった。

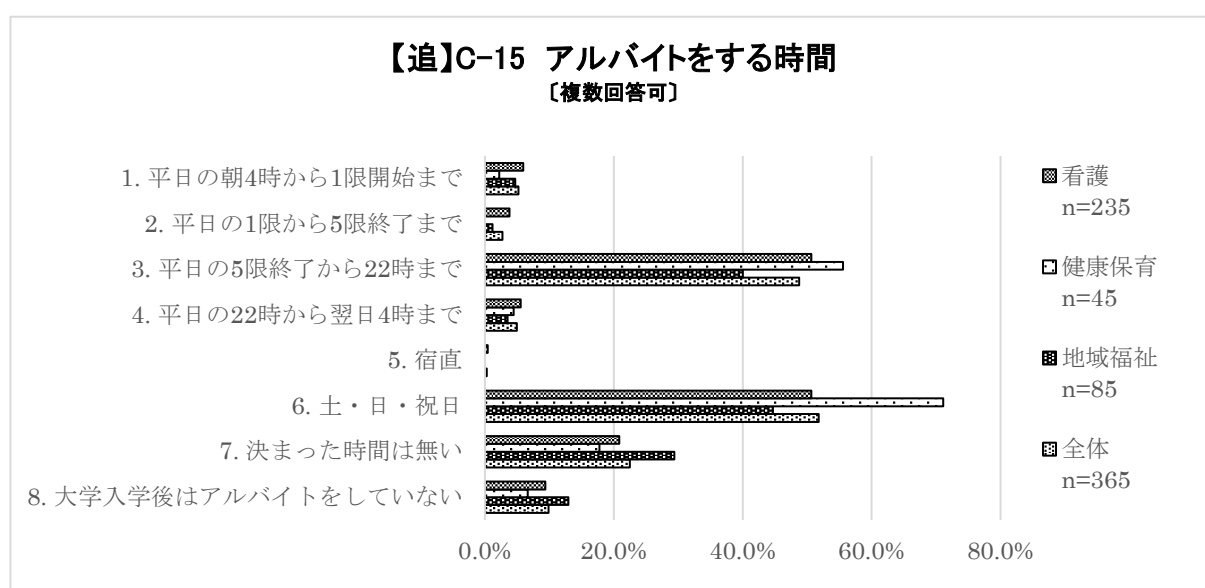
つまり、約半数の学生が大学の休日や平日の夕方以降、あるいはその双方にアルバイトを行っていることになる。なお、①平日のいずれかの時間帯と休日（「土・日・祝日」）の双方にアルバイトを行っている学生、また、②平日の早朝と夕夜（「朝4時から1限の開始まで」と「平日の5限終了から22時まで」）にアルバイトを行っている学生、さらには③平日の早朝と夕夜に加え休日にもアルバイトを行っている学生を抽出したところ下表【追】図表C-15の2の通りであった。

【追】図表C-15の2

アルバイト時間帯	看護学科					健康保育学科		地域福祉学科			全体
	1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年	計	
①平日+休日	38人	10人	19人	5人	72人	21人	21人	19人	7人	26人	119人
②平日朝+夕夜	5人	3人	3人	1人	12人	2人	2人	1人	1人	2人	16人
③平日朝+夕夜+休日	2人	1人	2人	0人	5人	1人	1人	0人	0人	0人	6人

一方、「大学入学後はアルバイトをしていない」学生は9.9%と約1割に上った。

学科・学年別の特徴としては、健康保育学科は他学科に比してアルバイトをしている学生の割合が高かった。また、各学科とも1年生は他学年に比してアルバイトをしている学生の割合が高かった。1年生は学外実習などが少なくアルバイト時間を確保しやすい可能性もあるが、一方で、入学後の生活リズムを確立する1年間でもある。先の【追】C-14「授業時間外の勉強時間」とも相まって、学生の学外（課外）生活の充実が求められる。



## 【追】C-16 大学入学後のアルバイトで不満な理由

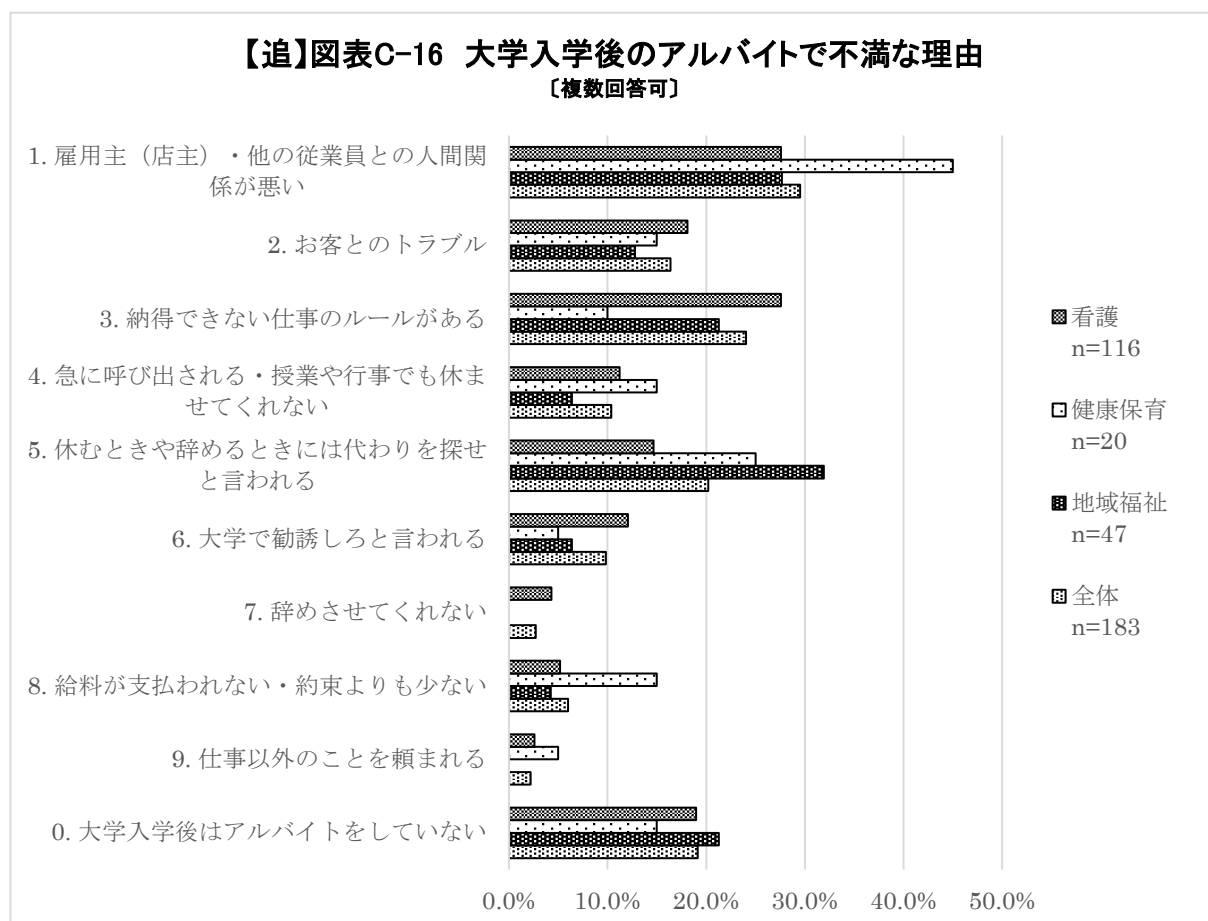
\* 複数回答可

先行調査によれば〈アルバイトをする理由〉〔D-15〕に「小遣い・臨時支出のため」「生活費のため」など経済的理由を挙げた学生が 88.6%にも上った。これに「学費のため」(2.3%)を加えると実に 90.9%の学生が就学や学修に必要な金員を得るためにアルバイトをしていることになる。逆説的にはアルバイトを続けなければ学生生活が困窮しかねず、いわんや容易にアルバイトを辞められない状況にあるともいえよう。

アルバイトに関する悩みや相談は予てから学生の訴えるところでもあり、過去にはアルバイトが原因で休学や退学に追い込まれる学生もいた。また、先の【追】B-8の質問〈新見に生活して良くないところ〉に「アルバイトしづらい」(22.0%)とあることも懸念される場所である。そこで今回、アルバイトの不満理由を質問した。

その結果、「雇用主(店主)・他の従業員との人間関係が悪い」が 29.5%と最も多く、次いで「納得できない仕事のルールがある」の 24.0%、「休むときや辞めるときには代わりを探せと言われる」の 20.2%、「お客とのトラブル」の 16.4%、「急に呼び出される・授業や行事でも休ませてくれない」の 10.4%などであった。

本学ではアルバイトに関する相談を学務課で受け付けているほか、年1回は労働局による出張アルバイト相談を実施しているが、実施方法なども含めて検討する必要があるだろう。また、雇用主との連絡調整も必要ではなかろうか。

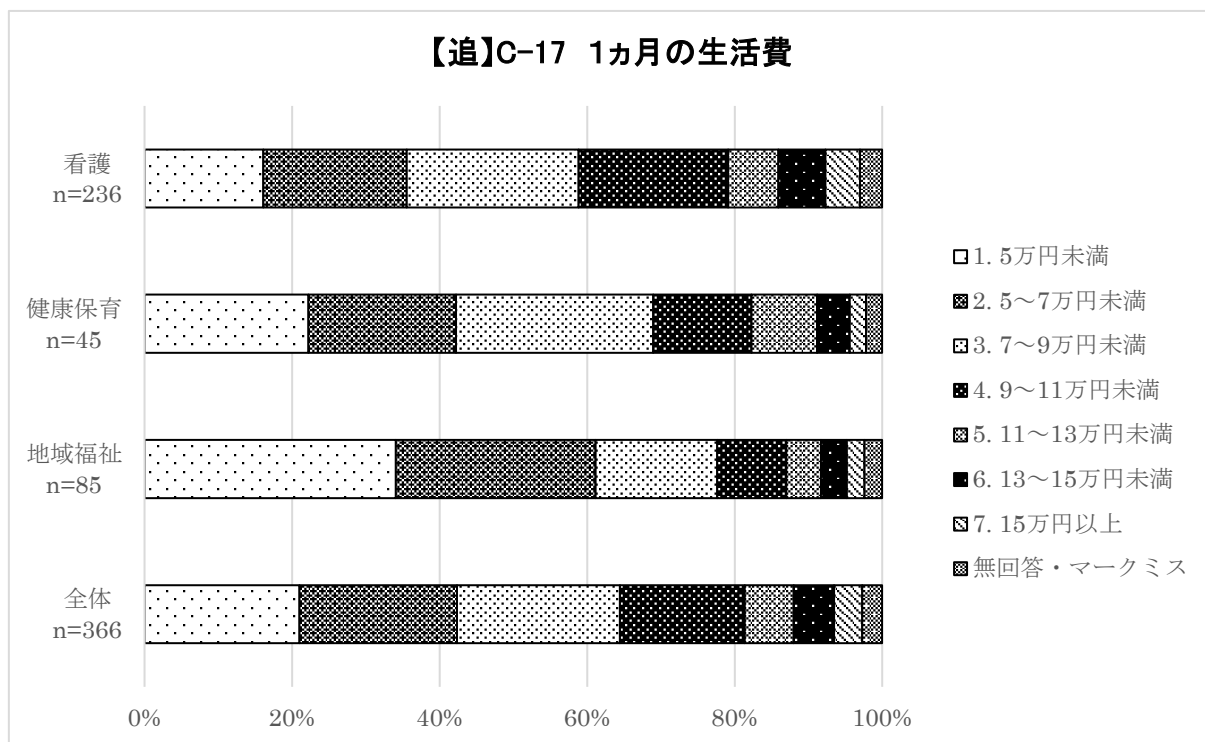


## 【追】C-17 1ヵ月の生活費

先行調査では〈平均収入〉〔G-57〕や〈家庭からの援助〉〔G-58〕などの収入を質問した上で、〈食費〉〔G-59〕や〈通信費〉〔G-60〕など支出に関することを質問した。しかし、その結果を照合したところ一部に辻褃の合わない結果が得られたことから、今回の調査では生活費の内容を具体的に例示するなどして質問し直すこととした。

その結果、1ヵ月の生活費は「7万円～9万円未満」が21.3%と最も多く、次いで「5万円～7万円未満」の21.3%、「5万円未満」の21.0%と均衡した。従って学生の生活費は概ね9万円未満といえよう。

なお、先行調査によると〈アルバイト月収〉〔D-21〕のピークは2万円～4万円が計41.6%であり、〈家庭からの援助〉〔G-58〕のピークは「3～5万円」であったことから、これらを合わせると今回の結果と概ね一致する。

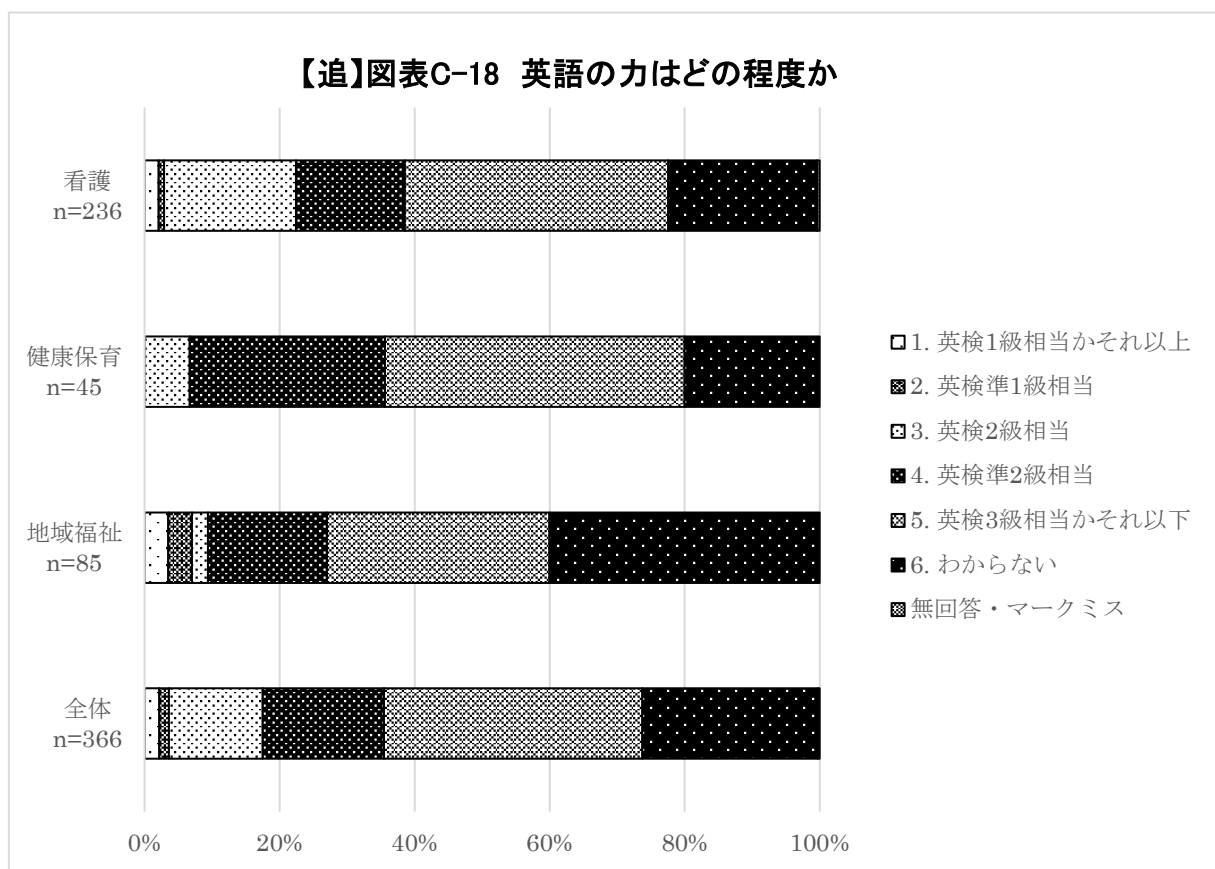


## 【追】C-18 英語の力はどのくらいと思うか

学生の語学力を把握する観点から新たに設けた質問であり、先行調査をはじめこれまでの学生生活実態調査には無かった設問である。

英語力を自己評価で尋ねたところ、「英検3級相当かそれ以下」が38.3%と最も多く、次いで「分からない」の26.0%、「英検準2級相当」(18.0%)、「英検2級相当」(13.9%)の順であった。

なお、学科による大きな差はみられなかった。また、学年間の差は地域福祉学科の「英検準2級相当」が2年生5.6%から1年生26.5%と大きく上がった外は、10ポイントを超える差はみられなかった。

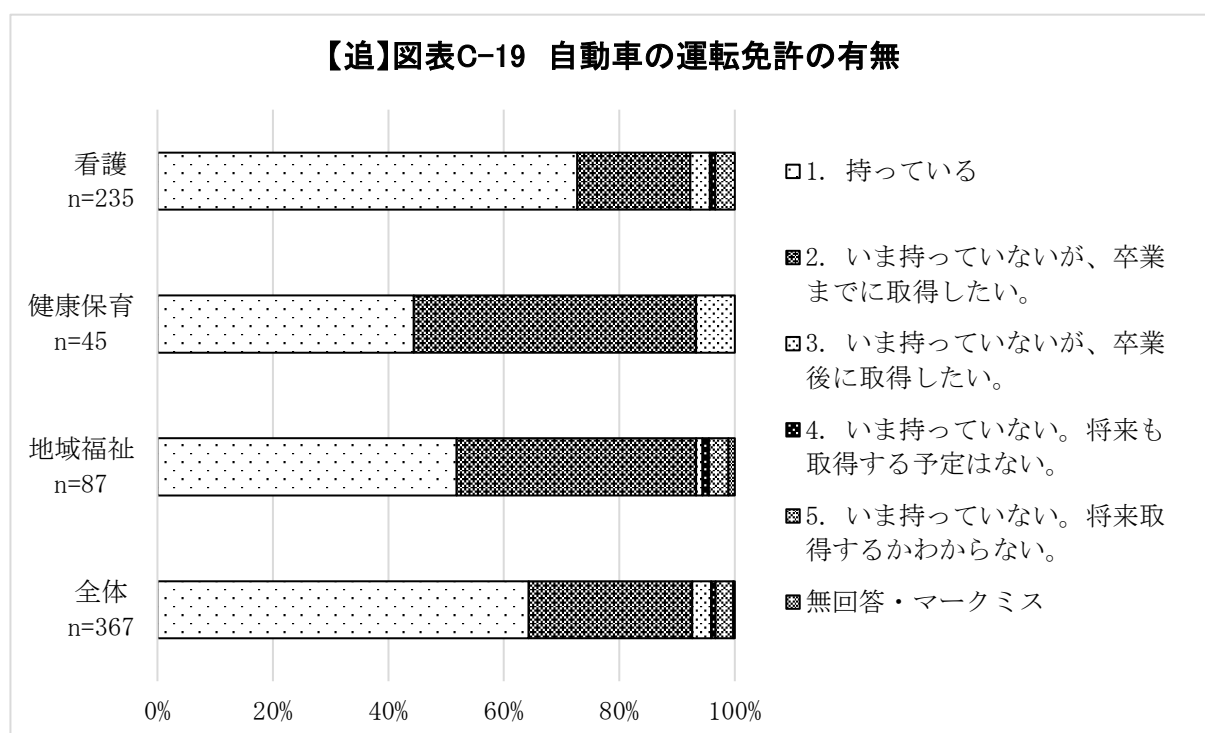


## 【追】C-19 自動車の運転免許を持っているか

先行調査の〈通学手段〉〔C-12〕や先の「新見市外への移動方法」〔【追】B-11〕に関係して、今回の調査では自動車免許の有無を質問した。

その結果、全体では「持っている」が64.3%と最も多く、次いで「いま持っていないが、卒業までに取得したい」が28.3%で、その他の回答は少なかった。

学年別には、当然のことながら学年が進むに連れて「持っている」が増加し、「いま持っていないが、卒業までに取得したい」が反比例して減少した。このことから学生は計画的に自動車免許を取得していることが窺われる。



## 【追】C-20 平日の就寝時刻

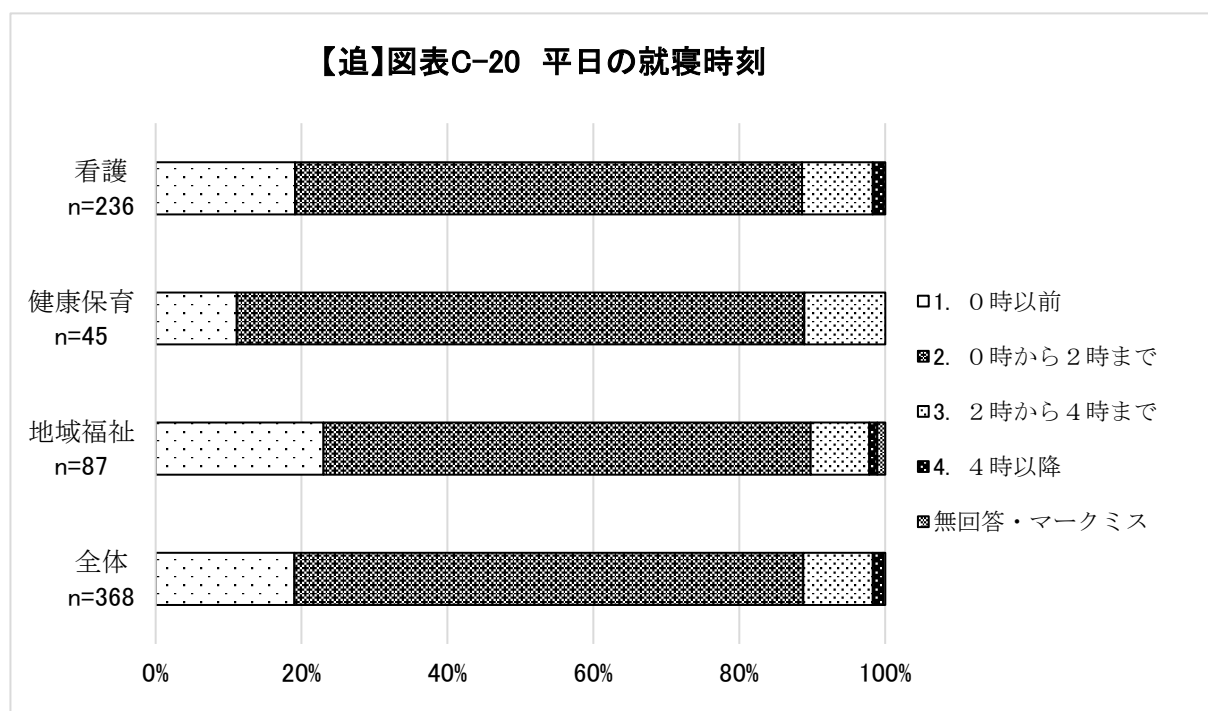
先行調査で〈睡眠時間〉〔E-36〕を質問したところ「6時間～7時間」が42.3%と最も多く、次いで「5時間～6時間」の29.1%であった。そこで、具体的な就寝・起床時間を把握するため【追】C-20・21を設問した。

その結果、平日の就寝時間は「0時から2時まで」が69.8%と最も多く全体の7割近くに及んだ。次に「0時以前」の19.0%であるが、その日の内に就寝している学生は2割に満たなかった。

「0時から2時まで」と回答した学生は、学科別に健康保育学科が他学科に比べて10ポイント程度高かった。また、学年別には1年生の割合が他学年のそれよりも高かった。

就寝時間が日を跨ぐ原因は明らかではないが、【追】C-13・15から類推すると授業外の自己学修時間による影響は少なく、むしろアルバイト時間（「平日夕方～22時」が最多48.8%）による影響が大きいと類推されよう。

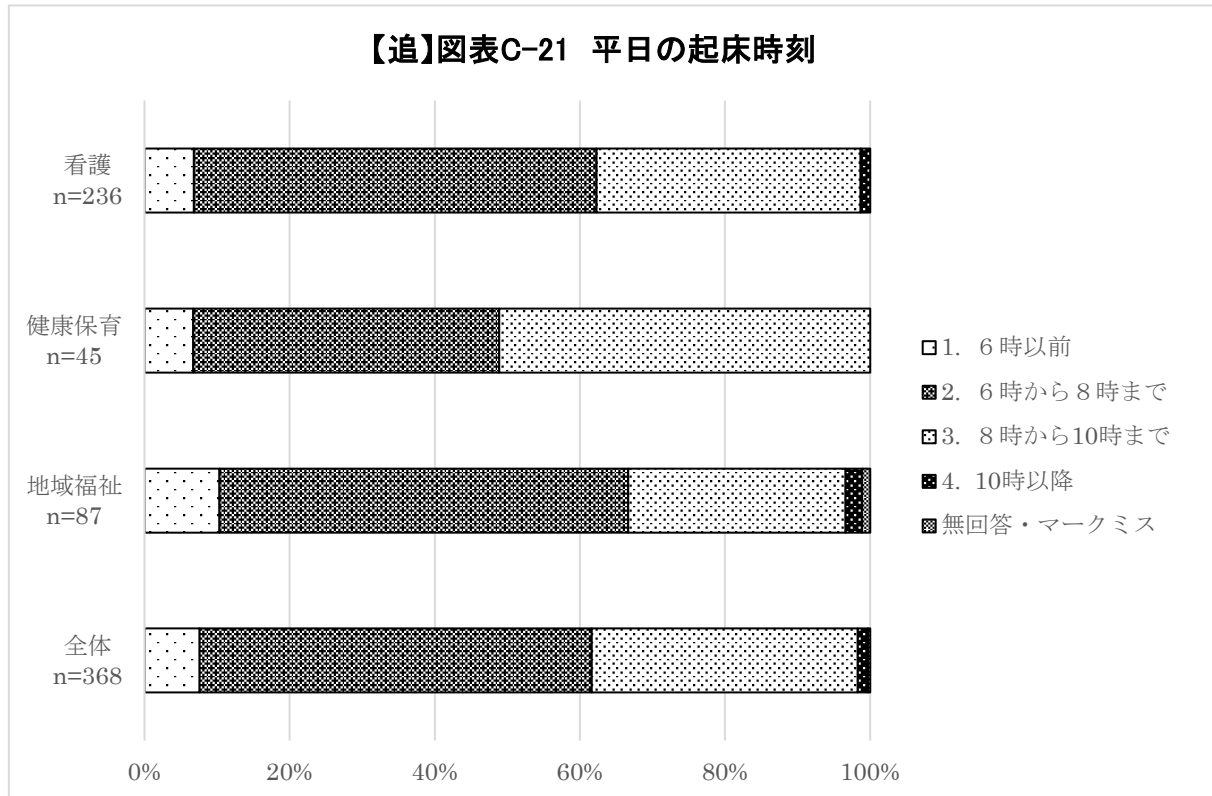
なお、就寝時間が「2時～4時」（9.5%）、「4時以降」（1.4%）の学生もいたことから、翌日の授業への影響が懸念される。



## 【追】C-21 平日の起床時刻

他方、平日の起床時間は、「6時から8時まで」が54.1%と最も多く、次いで「8時から10時まで」が36.7%であり、次の「6時以前」(7.6%)とは大きく開いた。

【追】C-20によると平日の就寝時間は「0時～2時まで」が最多であったことから、単純に差し引きすれば学生の睡眠時間は6時間程度となり、先行調査と大きな差異は見られなかった。



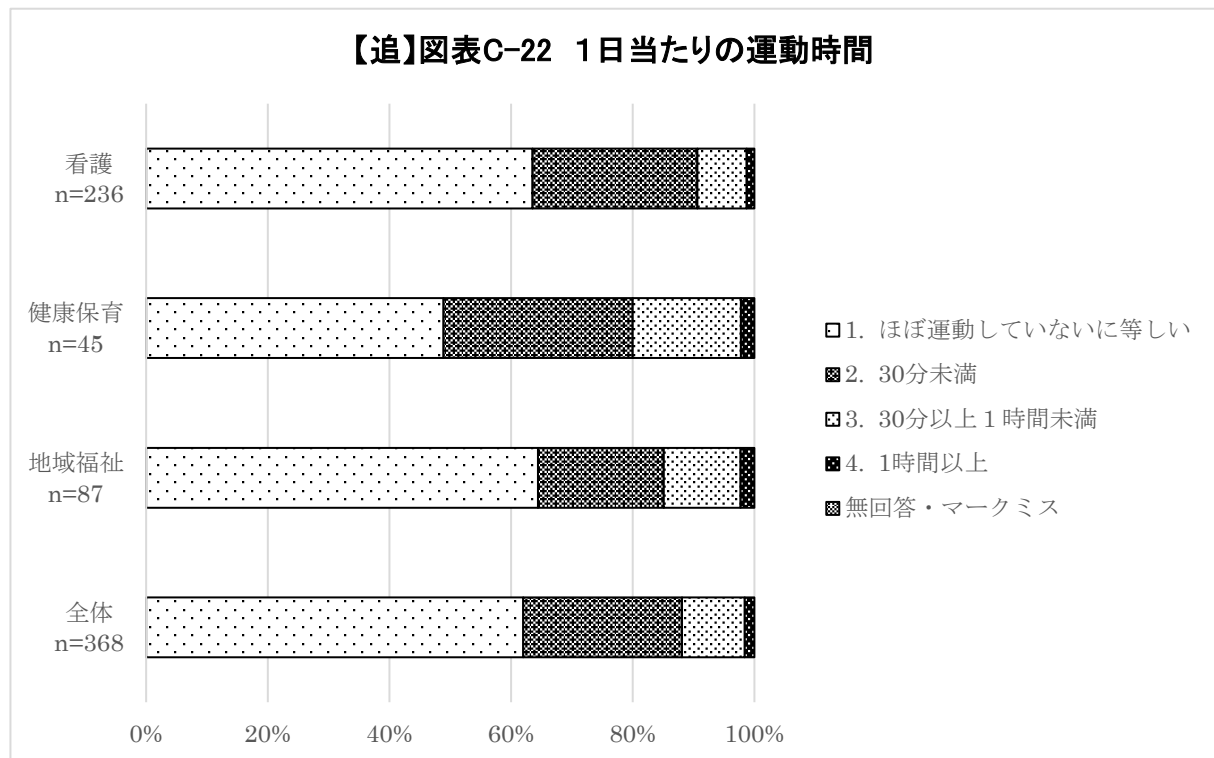


## 【追】C-22 1日当たりの運動時間(授業を含まない)

先行調査をはじめこれまでの学生生活実態調査では学生の〈睡眠時間〉[E-36] や〈食生活〉[E-37~40] の状況を把握してきた。今回の追加調査ではさらに踏み込んで健康管理や健康状態を把握することとした。

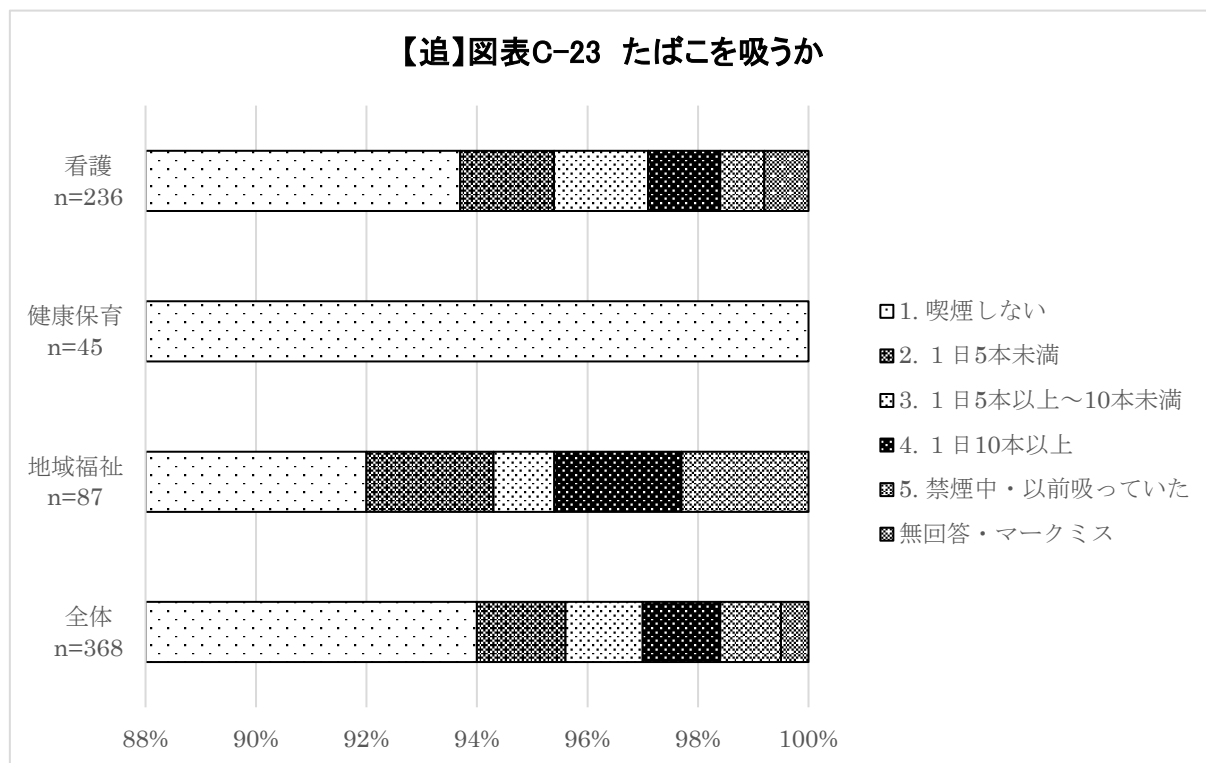
まず、はじめに運動時間は「ほぼ運動していないに等しい」が62.0%と最も多く、運動している場合でも「30分未満」(26.1%)、「30分以上1時間未満」(10.3%)と大半の学生の運動時間は少なかった。一方、「1時間以上」は1.6%に過ぎなかった。

学科・学年別では、「ほぼ運動をしていないに等しい」は健康保育学科(48.9%)が唯一、5割を下回った。一方、看護学科2年生と地域福祉学科2年生はいずれも7割を越えた。多くの学生が日常的に運動をしていないことが明らかになった。



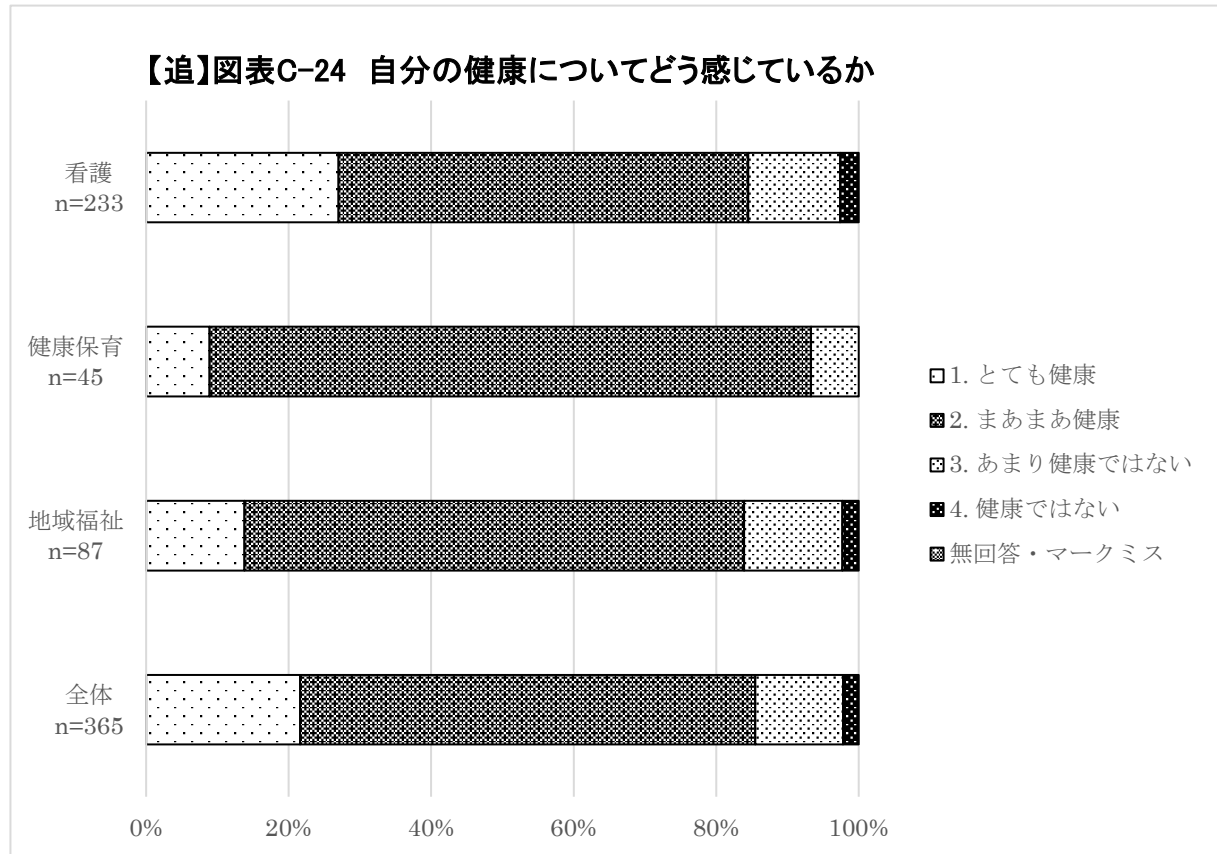
## 【追】C-23 たばこを吸うか

喫煙の有無について「喫煙しない」は 94.0%であり、これに「禁煙中・以前は吸っていた」(1.1%) を合わせて全体の 95.1%が現在、喫煙していなかった。一方、喫煙している学生 (4.4%) の喫煙本数は「1日5本未満」から「1日10本以上」までさまざまであった。



### 【追】C-24 自分の健康についてどう感じているか

「とても健康」(21.6%)と「まあまあ健康」(63.8%)を合わせて全体の85.4%が健康だと考えている一方、「あまり健康ではない」(12.3%)と「健康ではない」(2.2%)を合わせて全体の14.5%が不健康とを考えていることが明らかになった。



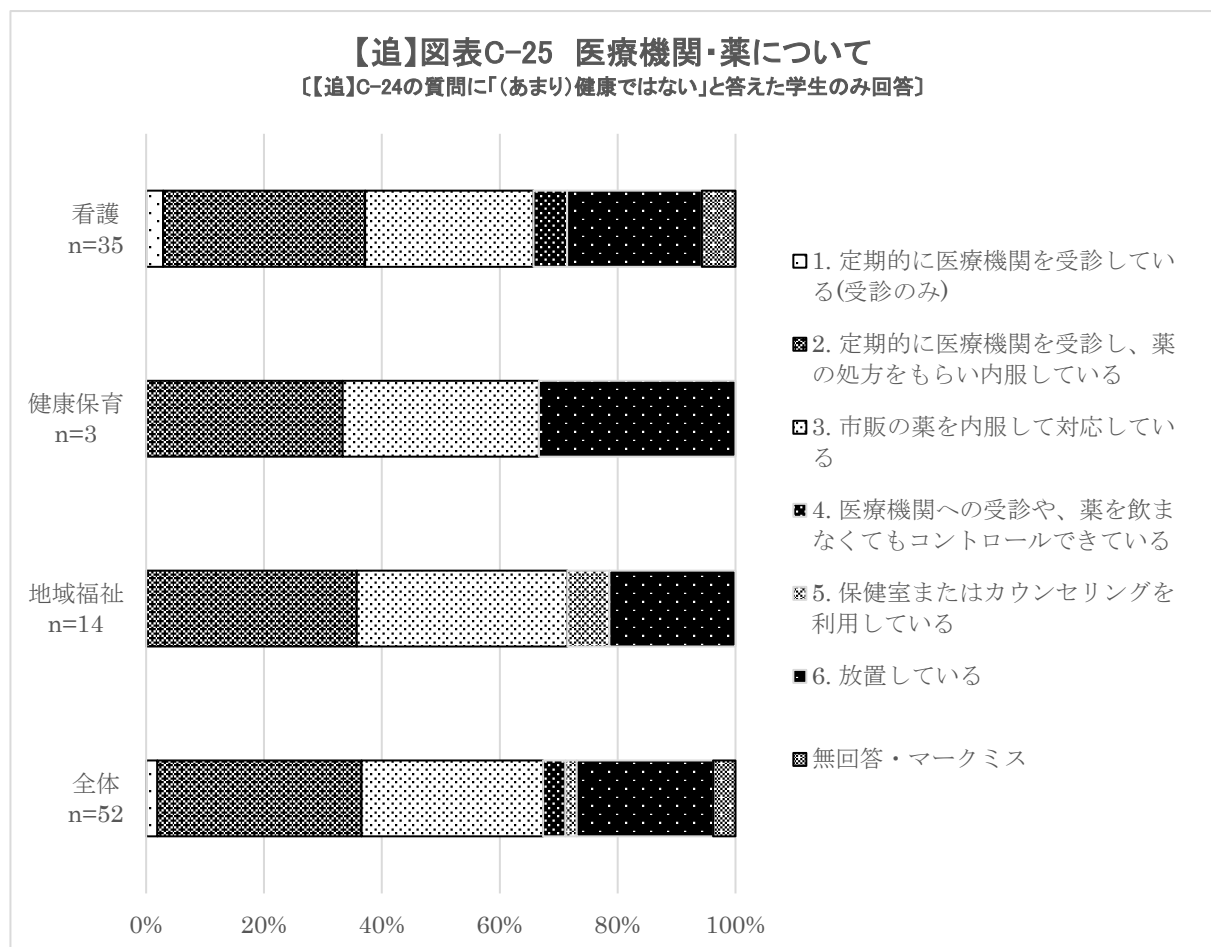
## 【追】C-25 医療機関または薬について

\*【追】C-24の質問に「(あまり)健康ではない」と答えた学生のみ回答

【追】C-24の質問に「(あまり)健康ではない」と考えていた53人に対して、治療などに関する状況を質問した。

その結果、「定期的に医療機関を受診し、薬の処方してもらい内服している」が最も多く34.6%、次いで「市販の薬を内服して対応している」が30.8%、の順であった。一方で、「放置している」も23.1%と4人に1人が不健康を自覚しながら放置していた。

何らかの対応を講じている学生がいる一方で、不健康を自覚しながらも対応していない学生が少なからずいることは気掛かりである。



## D. 安心・安全

### 【追】D-26 大学からの e-mail への対応

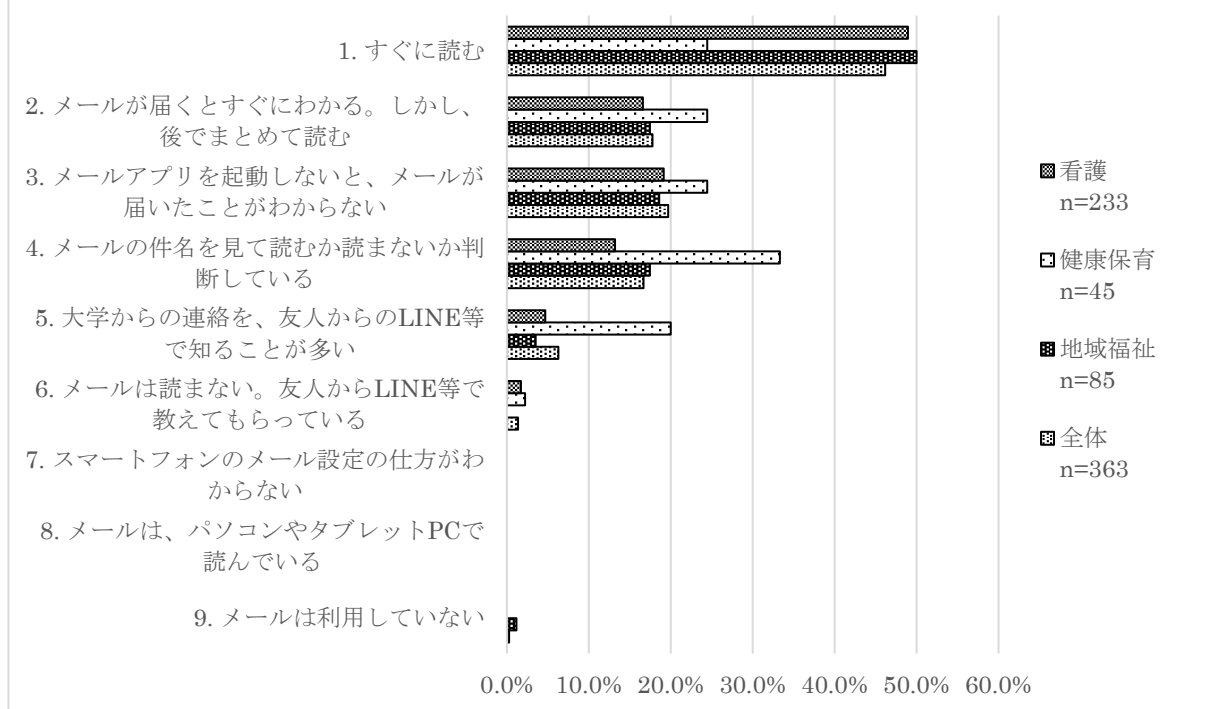
\* 複数回答可

大学から学生への主たる通知、連絡手段の一つであるメール送信システムへの学生の反応が必ずしも芳しくない現状から、新たに設けた質問である。現に昨年、一昨年と続いた集中豪雨時の安否確認に手間取った（返信がなかった）ことなども踏まえ、学生のメール活用実態を明らかにする必要があると考えたためである。

その結果、全体の46.2%に当たる学生が「すぐに読む」と回答した一方、「メールアプリを起動しないと、メールが届いたことが分からない」（19.7%）、「メールが届くとすぐにわかる。しかし、後でまとめて読む」（17.8%）、「メールの件名を見て読むか読まないか判断している」（16.7%）など、すぐには読まない場合もあると回答した学生が2割前後いた。

メールをすぐに読む学生は半数以下であり、緊急を要する連絡にメールが十分機能しない可能性が示唆された。また、「メールが届くとすぐにわかる。後でまとめて読む」や「メールの件名を見て読むか読まないかを判断している」など学生の裁量によって情報伝達が左右されることが明らかになった。そもそも、先行調査のとおり学生の〈親しい友人への連絡手段〉〔E-35〕の主流は「LINE トーク」（58.6%）と「LINE 通話」（35.0%）であり、メール（E-mail）の利用自体が身近ではないことから対応が後回しになるとも考えられる。学生への通信手段の再検討が必要なようである。

**【追】図表D-26 大学から送られるe-mailへの対応**  
〔複数回答可〕



## 【追】D-27 ストーカーやつきまといの被害経験

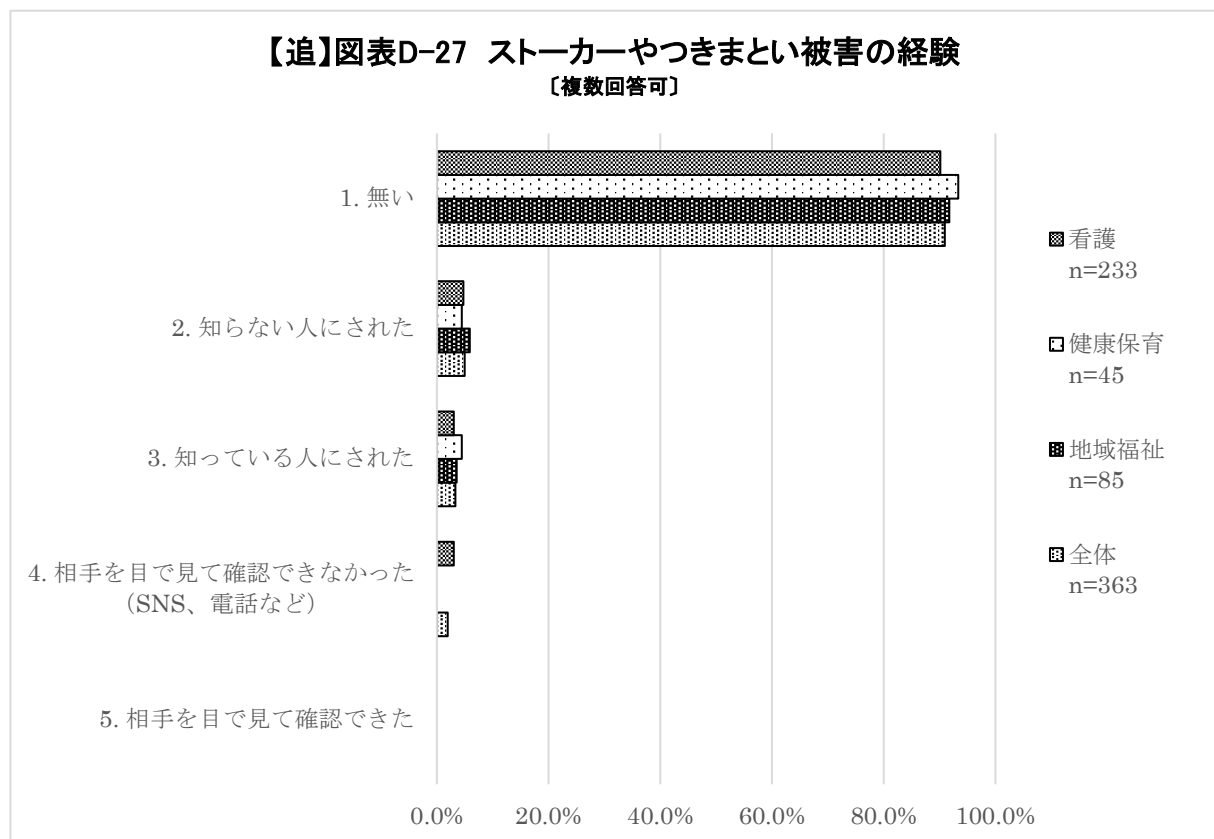
\* 複数回答可

先行調査で〈ストーカー被害・つきまとい行為〉〔E-43〕の有無を質問したところ、5.7%が「ある」と回答したことから、今回はその具体的な状況の把握に努めた。

その結果、「無い」が90.9%であった一方、10.2%の学生が何らかのストーカー、つきまとい被害に遭っていた。

具体的に相手方は「知らない人にされた」が5.0%、「知っている人にされた」が3.3%であった。また、目視確認については「相手を目で見て確認できなかった（SNS・電話など）」が1.9%、「相手を目で見て確認できた」は0.0%であった。

なお、被害経験のある学生は、在学期間との関係で自ずと学年が進むに連れて増加する傾向にあるが、その一方で在学期間が1年に満たない1年生が累計で看護学科4人、健康保育学科4人、地域福祉学科6人も被害に遭っていた。入学当初のオリエンテーションなどで注意喚起を図る必要があろう。



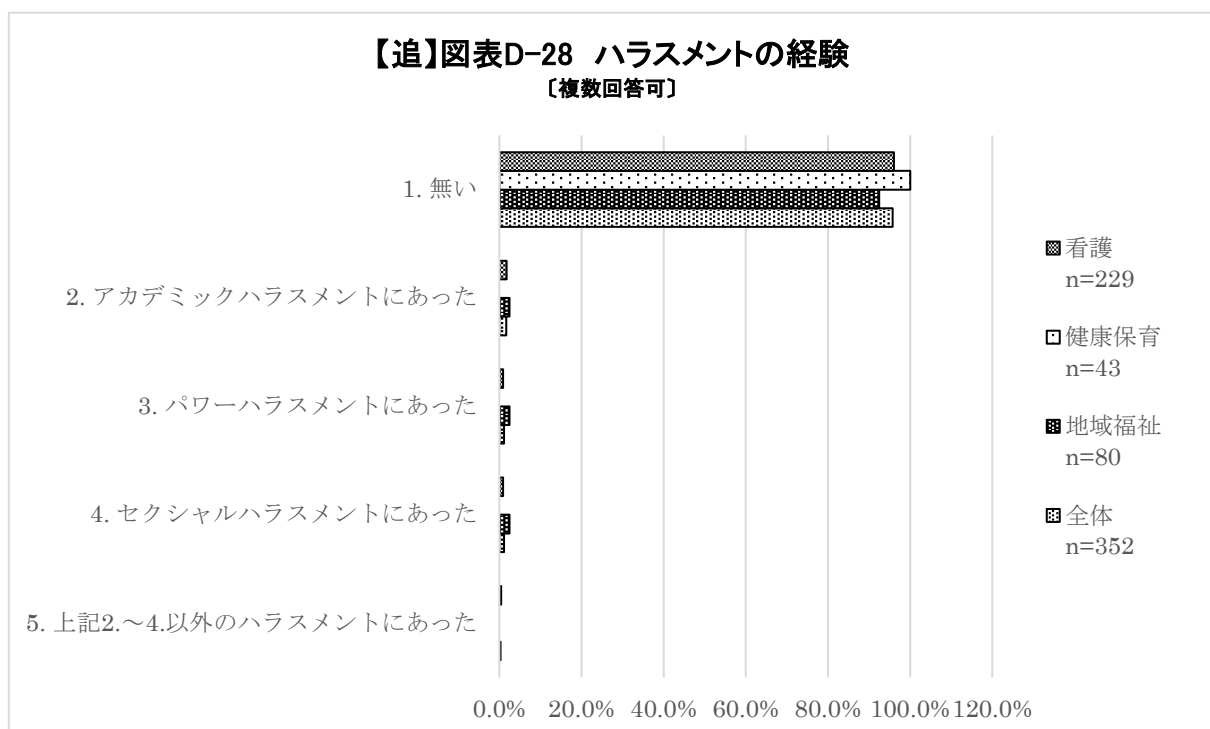
## 【追】D-28 大学に関連したハラスメントの経験

\* 複数回答可

先行調査で〈ハラスメント経験〉〔E-48〕の有無を質問したところ、2.6%の学生が「ある」と回答した。そこで、詳細を把握するため【追】D-32・33を設問した。

その結果、大学に関連したハラスメント経験は95.7%の学生が「無い」と回答した。一方で、4.2%の学生が何らかのハラスメントにあった経験があると回答した。その内訳は「アカデミックハラスメントにあった」が1.7%、「パワーハラスメントにあった」と「セクシャルハラスメントにあった」がそれぞれ1.1%、「上記以外のハラスメントにあった」が1.1%であった。

学科・学年別には、看護学科3・4年生と地域福祉学科1・2年生が「あった」と回答しており、看護学科1・2年生、健康保育学科は「無い」と回答した。

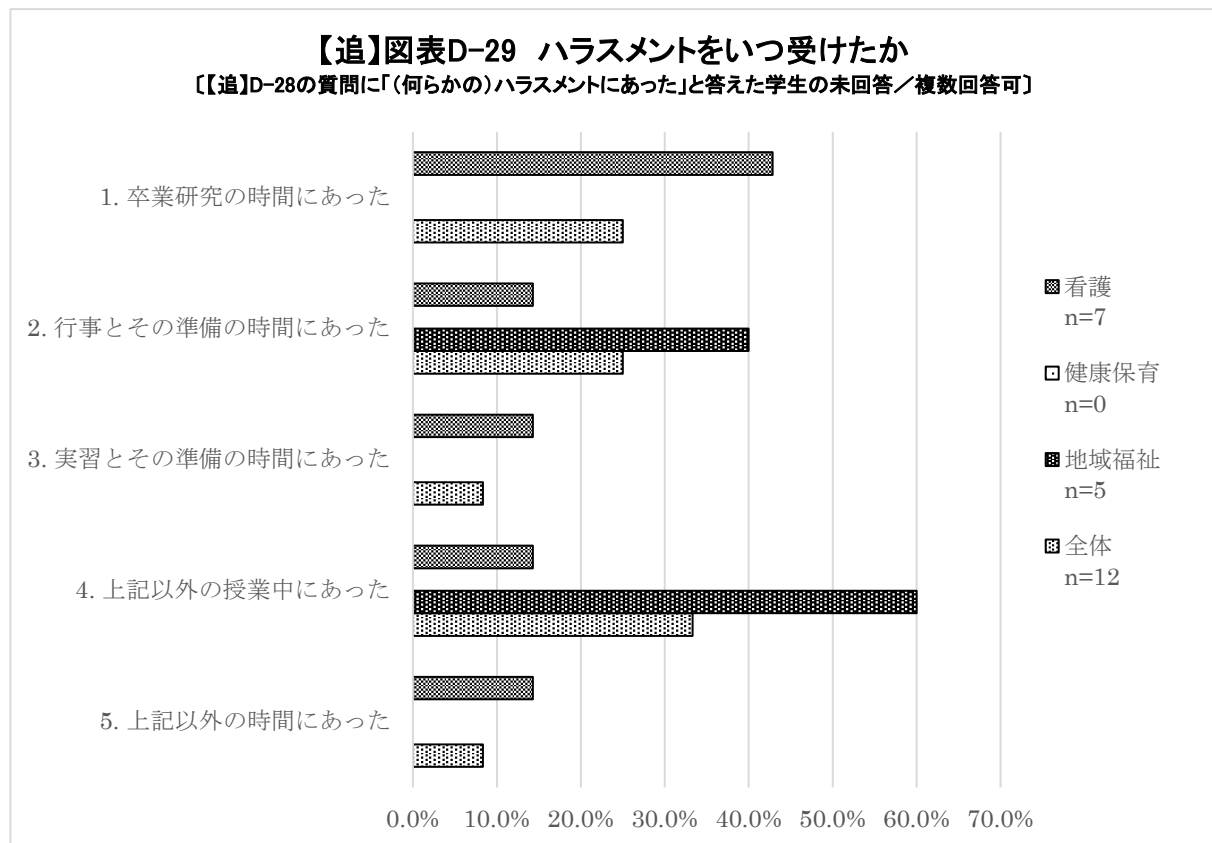


## 【追】D-29 ハラスメントを受けた時間(場面)

\*【追】D-28 の質問に「(アカデミック・パワー・セクシャル・その他)ハラスメントにあった」と答えた学生のみ回答/複数回答可

何らかのハラスメントにあった経験のある学生 15 人に対してどのような時間(場面)でそれに遭ったのかを質問したところ、「卒業研究の時間にあった」と「行事とその準備の時間に会った」がそれぞれ 25.0%、「上記以外の授業中にあった」(卒業研究・行事とその準備・実習とその準備以外)が 33.3%であり、「上記以外の時間にあった」(卒業研究・行事とその準備・実習とその準備・それ以外の授業中以外=行事・授業以外の時間)が 8.3%であった。

学科・学年別には、看護学科 1・3・4 年生(累計 7 人)と地域福祉学科 1・2 年生(累計 5 人)が「あった」と回答しており、看護学科 2 年生と健康保育学科は 1 人もいなかった。





## 【追】D-30 令和元年9月新見市集中豪雨、平成30年7月西日本豪雨時の滞在場所

\* 複数回答可

平成30年7月6日～7日に掛けて新見地域を襲った西日本豪雨（6月28日～7月8日に掛けて西日本を中心に北海道から九州地方に降った豪雨をいう）、および令和元年9月3日に新見市中心部（新見、高尾、西方、熊谷地区等）を襲った集中豪雨では、家屋（下宿先）浸水被害の他、JR線の運転取りやめや道路の不通によって通学（帰宅）困難学生も生じた。そこで、危機管理や災害対策に資するべく豪雨時の状況を【追】D-34・35に設問した。

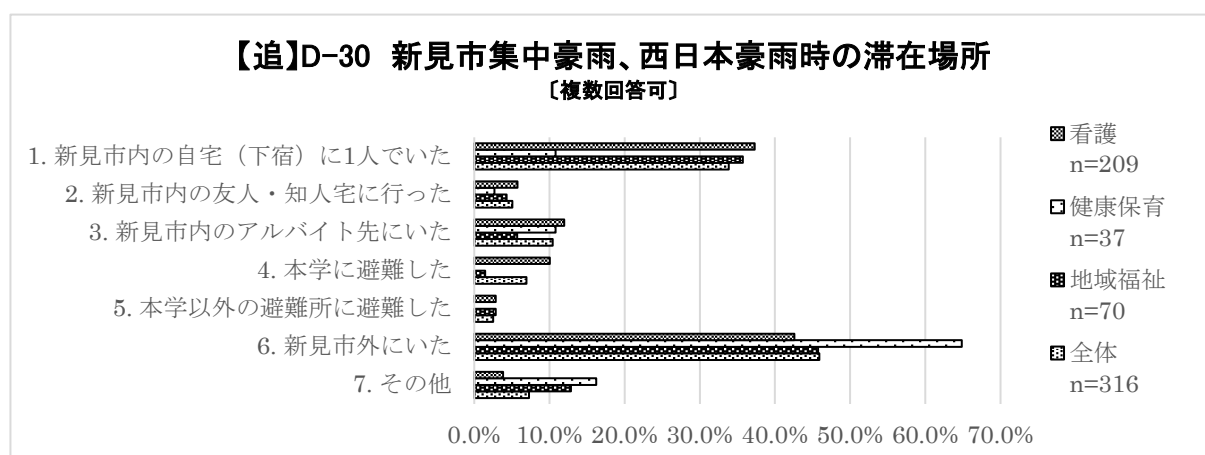
令和元年9月新見市集中豪雨は夏期休暇中の夕方から夜に発生しており、平成30年7月西日本豪雨は前期授業期間中の平日午後から深夜、翌日に掛けて発生した。2つの豪雨について1年生の多くは令和元年9月新見市集中豪雨のみを経験しており、2年生～4年生は2つの集中豪雨を経験している場合がある。

なお、本質問は2つの集中豪雨時の状況を一度に質問しているため、回答者によってはいずれか一方の集中豪雨のみを念頭に置いて回答した可能性があり得る。

その結果、全体では「新見市外にいた」が45.9%と最も多く、次いで「新見市内の自宅（下宿）に1人でいた」が33.9%、「新見市内のアルバイト先にいた」が10.4%、「本学に避難した」が7.0%、「新見市内の友人・知人宅に行った」が5.1%、「本学以外の避難所に避難した」が2.5%であった。

学科・学年別には各学科1年生と看護学科2年生は「新見市外にいた」が5割を越えており、他の学年との差が大きい。各学科1年生については既述のとおり平成30年7月西日本豪雨時は入学前であり、また、令和元年9月の新見市集中豪雨時も夏期休暇期間中であったことから学生が新見市内にいなかったからだろうと推測されるが、看護学科2年生について詳細は不明である。

他方、「新見市内の自宅（下宿）にいた」と「新見市内の友人・知人宅にいた」を合わせて39.0%の学生が居室内にいたことになる。発生直後は自宅、友人・知人宅におり、その後、避難したのならばよいが、実際に避難所（大学を含む）へ避難した学生は9.5%に過ぎないことから、自宅や友人・知人宅にいた多くの学生が最後まで自宅に留まった、もしくは自宅から友人・知人宅へ移動したことになる。



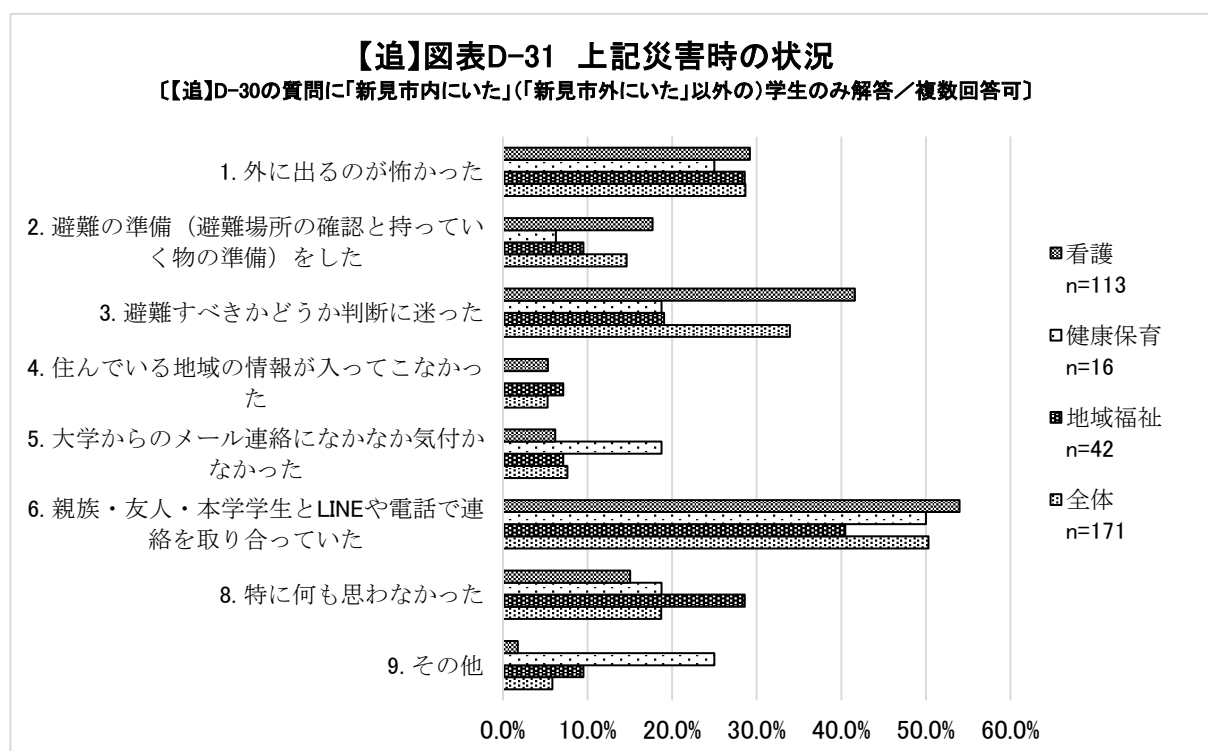
## 【追】D-31 上記災害時の状況

\*【追】D-30の質問に「新見市内(自宅・友人知人宅・バイト先・本学・避難所)にいた」「その他」と答えた学生のみ回答/複数回答可

次に、災害時の状況を質問したところ、まず、当日の意識については「避難すべきかどうか判断に迷った」(33.9%)、「外に出るのが怖かった」(28.7%)、「特に何も思わなかった」(18.7%)、「住んでいる地域の情報が入ってこなかった」(5.3%)であった。また、その際にとった行動については「親族・友人・本学学生とLINEや電話で連絡を取り合っていた」(50.3%)、「避難の準備(避難場所の確認と持っていく物の準備)をした」(14.6%)、「親族・友人・本学学生以外の方が連絡や会いに来てくれた」(11.7%)であった。なお、「大学からのメールになかなか気付かなかった」と回答した学生は7.6%であった。

この結果から、多くの学生が自宅(下宿)などで避難すべきかどうかを迷い、LINEや電話で家族や知人と連絡を取り合い凌いでいた様子が窺える。これは先行調査の〈親しい友人への連絡手段〉〔E-35〕の質問に「LINEトーク」「LINE通話」を挙げた学生が93.6%と圧倒的多数を占めた結果に裏付けられるものである。

今回の2つの集中豪雨時には幸いにも新見市内のライフラインが確保されていたため情報交換が可能だったが、万一、遮断された場合、個々の学生が自宅(下宿)で孤立しかねない状況にあったといえよう。とりわけ、下宿生(独り暮らし)の学生多い本学では、災害時に備えた事前教育や支援方法の確立が必要であろう。



## 第4回 学生生活実態調査（追加調査）

2020年1月実施

新見公立大学・新見公立短期大学  
学生部・学務課・学生生活委員会

学生生活実態調査は4年に1回程度行われています。2019年秋の実態調査では、学生の92%から回答が得られました。ありがとうございました。現在、本学は、Wi-Fiの強化、新校舎の整備、新見駅西エリア学生住居計画などのハードと、完全4大化に対応した規則などのソフトを整備している最中であり、皆さんの実態調査の結果がすぐに反映されやすい状況です。2019年秋の実態調査の結果によって、本学の計画が変わったものもあります。さらに細かく皆さんの意見を反映させるためには、2019年秋の実態調査の結果をより深く調べたり、新たな項目を作って調べたりする必要があります。そこで、追加の調査を行うことにしました。お手数をおかけすることになりますが、学生生活の向上のため、ご協力よろしくお願いいたします。

調査方法は無記名です。調査結果は集計・統計処理し、自己点検・評価報告書として公表します。公表にあたっては、個人の秘密の保護には最大限に配慮し、個人のデータを直接公表することはいかなる場合にもありません。また、大学として禁止している行為などについても質問していますが、本票に記載された事項をもとに記載者を特定したり、記載者の責任を追及したりすることは一切行いませんので、正直に記入してください。この調査は学生の自由意志によるものであって、強制によるものではありません。学生は、回答したこと、または回答しなかったことによって不利益を受けることは一切ありません。

### 記入上の注意

1. この調査には**2020年1月1日現在の状況**を記入してください。
2. 回答には**汎用マークシート1枚**（試験解答用）を使用してください。
3. 学科・科目・学籍番号（記入欄・マークシート欄）および氏名欄は記入しないでください。回答について、質問番号を問題番号と読み替えて、該当欄の1つまたは指示した数の選択肢に該当するマークシートの数字を塗りつぶしてください。HB または B の黒鉛筆または黒のシャープペンシルを使用してください。
4. 回答したマークシートは、**2019年2月10日までに**担当教員または学務課に提出してください。
5. この調査は**学務課**が事務を担当しています。

## ＜A＞ 基本事項

- (1) あなたの所属する学科はどこですか：(いずれかひとつ)
1. 大学看護学科
  2. 大学健康保育学科
  3. 大学地域福祉学科
  4. 短大幼児教育学科
  5. 短大地域福祉学科
- (2) あなたの所属する学年（主として受講している年次）はどこですか：(いずれかひとつ)
1. 1年次
  2. 2年次
  3. 3年次
  4. 4年次

## ＜B＞ 住居・地域

- (3) 今住んでいる住居に満足している理由を教えてください：(該当するものはすべて)
1. 家賃が安い
  2. 大家さんや地域の方が優しい・親切
  3. 大学に近い
  4. 新しくてきれい
  5. 商業施設に近い
  6. 治安が良い
  7. セキュリティがしっかりしている
  8. 上記以外で満足している（具体的に \_\_\_\_\_ )
  9. 満足していない
- (4) 今住んでいる住居に不満な理由があればそれは何ですか：(1.～8.の該当するものはすべてまたは9.)
1. 騒音
  2. 臭気（下水の臭いがするなど）
  3. 湿気（カビやすい、洗濯物を乾かしにくいなど）
  4. 温度（暑い、寒い、お湯が出ないなど）
  5. 共有スペース（駐輪場の使い方、ゴミ出しルールが悪いなど）
  6. 治安（物が無くなる、居住者以外の出入りが多い、不審者が通るなど）
  7. セキュリティ（侵入されやすそう、覗かれそうなど）
  8. 上記以外にも不満がある（家賃が高い、部屋が狭いなど）
  9. 特に不満はない
- (5) 平日はどこにいますか（大学・アルバイト先を除く）：(該当するものはすべて)
1. 自宅（下宿）
  2. 友人宅
  3. スーパーやコンビニ
  4. 飲食店
  5. 図書館
  6. その他
- (6) 休日はどこにいますか（大学・アルバイト先を除く）：(該当するものはすべて)
1. 自宅（下宿）
  2. 友人宅
  3. スーパーやコンビニ
  4. 飲食店
  5. 図書館
  6. アミューズメント施設・コンサートホール
  7. 新見市外に行く
  8. その他

(7) 新見地方に生活して良いと思うことは何ですか：(あてはまるものを3つ以内)

1. 交通の便が良い
2. 地域の人が親切
3. 遊ぶ所が多い
4. 物価が安い
5. 治安上の観点から安心
6. 自然環境にめぐまれている
7. 町が狭く通学距離が近い
8. 勉学に専念できる環境である
9. その他に良いと思うことがある
0. 良いと思うことはない

(8) 新見地方に生活して良くないと思うことは何ですか：(あてはまるものを3つ以内)

1. 交通の便が悪い
2. 地域の人に親しみを持たない
3. 遊ぶ所が少ない
4. 物価が高い
5. 治安が悪い
6. アルバイトしづらい
7. 夜に店が早く閉まる
8. 勉強に専念できる環境ではない
9. その他に良くないと思うことがある
- 0.良くないと思うことはない

(9) あなたはどこから大学に通学していますか：(いずれかひとつ)

1. 新見市
2. 高梁市
3. 総社市
4. 倉敷市
5. 岡山市
6. 真庭市・新庄村
7. 鳥取県・島根県
8. その他地域

↓(9)の質問に2.～8.と答えた人は<C>へ進んでください。→<C>へ

↓(10)と(11)の質問には、(9)の質問に1.と答えた人のみが回答してください。

(10) 新見市外に出かけるときは、主にどこに行きますか：(該当するものはすべて)

1. 岡山市
2. 倉敷市
3. 高梁市
4. 岡山市・倉敷市・高梁市以外の岡山県内
5. 鳥取県
6. 島根県
7. 広島県
8. 近畿
9. 四国
0. その他

(11) 新見市外へ出る際の移動手段は何ですか：(該当するものはすべて)

1. JR
2. 自家用車
3. 保護者や知人の車
4. 高速バス
5. バイク・自転車
6. その他

## <C> 学生生活

(12) 大学への要望はありますか：(該当するものはすべて)

1. エレベーターを設置してほしい
2. 机とイスをもっと良いものにしてほしい
3. 図書の出冊数と貸出期間を増やしてほしい
4. 食堂の営業時間を延長してほしい(朝から夜まで)
5. 食堂のメニューを安くしてほしい
6. 午後8時の大学施設閉鎖時間を延長してほしい
7. 休日も大学施設(1号館・3号館など)を利用したい
8. 課外活動をもっと支援して欲しい
9. 駐輪場を使いやすくしてほしい
0. 特に無い

(13) 平日 1 日あたりの授業を除く勉強時間（予習、復習、課題等）はどのくらいですか：（いずれかひとつ）

- |              |            |              |
|--------------|------------|--------------|
| 1. 基本的に勉強しない | 2. 30分未満   | 3. 30分～1時間未満 |
| 4. 1時間～2時間未満 | 5. 2～3時間未満 | 6. 3～4時間未満   |
| 7. 4～6時間未満   | 8. 6～8時間未満 | 9. 8時間以上     |

(14) 授業を除く勉強時間が、質問(13)の回答になったのは、どのような理由があると思いますか：（該当するものはすべて）

1. 自分にとって適切またはそれ以上の勉強時間だから
2. 大学で課題（宿題）が出ないから
3. やる気が湧かないから・勉強したくないから
4. アルバイトが忙しいから
5. 部活や遊びで忙しいから
6. 予習・復習の方法が分からない
7. 一人で勉強したくない
8. 自宅に勉強できる環境が無い
9. 理由は特に無い
0. その他

(15) アルバイトをする時間はいつですか：（1.～7.の該当するものはすべてまたは8.）

1. 平日の朝 4 時から 1 限開始まで
2. 平日の 1 限から 5 限終了まで
3. 平日の 5 限終了から 22 時まで
4. 平日の 22 時から翌日 4 時まで
5. 宿直
6. 土・日・祝日
7. 決まった時間は無い
8. 大学入学後はアルバイトをしていない

(16) 大学入学後のアルバイトで不満な理由があれば、それは何ですか：（1.～9.の該当するものはすべてまたは0.）

1. 雇用主（店主）・他の従業員との人間関係が悪い
2. お客とのトラブル
3. 納得できない仕事のルールがある
4. 急に呼び出される・授業や大学行事があるのに休ませてくれない
5. 休むときや辞めるときには代わりを探せと言われる
6. 大学で勧誘しろと言われる
7. 辞めさせてくれない
8. 給料が支払われない・約束よりも少ない
9. 仕事以外のことを頼まれる
0. 大学入学後はアルバイトをしていない

【説明】アルバイトをしている方で、不満が無い場合はマークをしないで下さい。

(17) あなたの1ヵ月の生活費はどのくらいですか：(いずれかひとつ)

※ 親が代わりに支払っている生活費(家賃、携帯代など)、親からの仕送り、奨学金、アルバイト代等すべての生活費の合計とします。ただし、授業料等の学校納付金を除きます。

1. 5万円未満
2. 5～7万円未満
3. 7～9万円未満
4. 9～11万円未満
5. 11～13万円未満
6. 13～15万円未満
7. 15万円以上

(18) あなたの英語の力はどのくらいとっていますか：(いずれかひとつ)

1. 英検1級相当かそれ以上
2. 英検準1級相当
3. 英検2級相当
4. 英検準2級相当
5. 英検3級相当かそれ以下
6. わからない

(19) あなたは自動車の運転免許を持っていますか：(いずれかひとつ)

1. 持っている
2. いま持っていないが、卒業までに取得したい。
3. いま持っていないが、卒業後に取得したい。
4. いま持っていない。将来も取得する予定はない。
5. いま持っていない。将来取得するかどうかはわからない。

(20) 平日の就寝時刻についてお尋ねします：(いずれかひとつ)

1. 0時以前
2. 0時から2時まで
3. 2時から4時まで
4. 4時以降

(21) 平日の起床時刻についてお尋ねします：(いずれかひとつ)

1. 6時以前
2. 6時から8時まで
3. 8時から10時まで
4. 10時以降

(22) 1日当たりの運動時間(授業を含まない)についてお尋ねします：(いずれかひとつ)

1. ほぼ運動していないに等しい
2. 30分未満
3. 30分以上1時間未満
4. 1時間以上

(23) あなたはたばこを吸いますか：(いずれかひとつ)

1. 喫煙しない
2. 1日5本未満
3. 1日5本以上～10本未満
4. 1日10本以上
5. 禁煙中・以前吸っていた

(24) 自分の健康についてどう感じていますか：(いずれかひとつ)

1. とても健康
2. まあまあ健康
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

↓(24)の質問に1.または2.と答えた人は<D>へ進んでください。→<D>へ

↓(25)の質問には、(24)の質問に3.または4.と答えた人が回答してください。

(25) 医療機関または薬についてお答えください：(いずれかひとつ)

1. 定期的に医療機関を受診している(受診のみ)
2. 定期的に医療機関を受診し、薬の処方してもらい内服している
3. 市販の薬を内服して対応している
4. 医療機関への受診や、薬を飲まなくてもコントロールできている
5. 保健室またはカウンセリングを利用している
6. 放置している

#### <D> 安心・安全

(26) 大学から皆さんへの連絡は、いくつかの理由があるため、掲示または e-mail で行っています。大学からの e-mail は、どう対応していますか：(1.～8.の該当するものはすべて、または9.)

1. すぐに読む。
2. メールが届くとすぐにわかる。しかし、後でまとめて読む(無料 Wi-Fi がある所に行った時など)。
3. メールアプリを起動しないと、メールが届いたことがわからないようになっている。
4. メールの件名を見て読むか読まないか判断している。
5. 大学から連絡があったことを、友人からの LINE 等で知ることが多い(知らせてもらっている)。その後に、自分に届いたメールを読んでいる。
6. メールは読まない。連絡内容は、友人から LINE 等で教えてもらっている。
7. スマートフォンのメール設定の仕方がわからないので、読むことが難しい。
8. メールは、パソコンやタブレット PC で読んでいる。
9. メールは利用していない。

(27) ストーカーやつきまといの被害にあった経験がありますか：(該当するものはすべて)

1. 無い
2. 知らない人にされた
3. 知っている人にされた
4. 相手を目で見て確認できなかった(SNS、電話など)
5. 相手を目で見て確認できた

【説明】つきまとい行為とは、あなたに対する好意の感情や、その感情がかなわなかった怨みなどの感情により、つきまとい、待ち伏せ、押しかけ、監視(見張っていると告げる行為を含む)、面会・交際の要求、粗野・乱暴な言動、名誉の侵害、無言電話等のいやがらせなどをいいます。ストーカー行為とはつきまとい行為を繰り返すことをいいます。



(28) あなたは大学に関連したハラスメントを経験したことがありますか：(該当するものはすべて)

1. 無い
2. アカデミックハラスメントにあった
3. パワーハラスメントにあった
4. セクシャルハラスメントにあった
5. 上記 2.～4. 以外のハラスメントにあった

【説明】大学に関連したハラスメントとは、講義・実習・演習・ゼミなどで教員や指導者から威圧的な指導、公衆の面前での叱責等の人格を否定する行為、正当な理由がないのに授業・試験を受けさせない、なすべき研究指導をしないなどの アカデミックハラスメント、教員・事務職員やクラブ・サークル・学生団体等の上級生、役員、同級生などから、職務上の地位や人間関係の優位性を背景として、業務の適正な範囲を超えた人格・尊厳を侵害する パワーハラスメント、教員・事務職員、上級生、同級生等からの性的ないやがらせ (セクシャルハラスメント) などがあります。

↓(28) の質問に 1. と答えた人は (30) へ進んでください。→(30) へ

↓(29) の質問には、(28) の質問に 2.～5. と答えた人が回答してください。

(29) ハラスメントをいつ受けましたか：(該当するものはすべて)

1. 卒業研究の時間にあった
2. 行事とその準備の時間にあった
3. 実習とその準備の時間にあった
4. 上記 5. 6. 7. 以外の授業中にあった
5. 上記 5. 6. 7. 8. 以外の時間にあった

(30) 令和元年 9 月新見市集中豪雨、平成 30 年 7 月西日本豪雨時の滞在場所は：(該当するものはすべて)

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. 新見市内の自宅（下宿）に 1 人でいた | 2. 新見市内の友人・知人宅に行った |
| 3. 新見市内のアルバイト先にいた      | 4. 本学に避難した         |
| 5. 本学以外の避難所に避難した       | 6. 新見市外にいた         |
| 7. その他                 |                    |

↓(30)の質問に6.と答えた人はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

↓(31)の質問には、(30)の質問に1.～5.7.と答えた人が回答してください。

(31) 上記災害時は、どのような状況でしたか：(該当するものはすべて)

1. 外に出るのが怖かった
2. 避難の準備（避難場所の確認、避難所に持っていく物の準備）をした
3. 避難すべきかどうか判断に迷った
4. 住んでいる地域の情報が入ってこなかった
5. 大学からのメール連絡になかなか気付かなかった
6. 親族・友人・本学学生とLINEや電話で連絡を取り合っていた。
7. 親族・友人・本学学生以外の方（近所の方、家主、不動産業者など）が会いに来てくれたり、LINEや電話で連絡をしてくれたりした。
8. 特に何も思わなかった
9. その他

ご協力ありがとうございました。

この調査に関する問い合わせ先 新見公立大学・新見公立短期大学 学務課担当者：真治 将史 電話：(0867)72-0634 Eメール：syusyoku@niimi-u.ac.jp
--

# 追加調査集計表

## <A> 基本事項

表A-1.2 回答者

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学	短大	合計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	地域福 祉学科	地域福 祉学科		
回答者	実数	76	55	57	48	236	45	45	50	37	87	368
回答率	%	92.7%	87.3%	90.5%	78.7%	87.7%	95.7%	95.7%	98.0%	94.9%	96.7%	90.6%
学生数(休学者等を除く)	実数	82	63	63	61	269	47	47	51	39	90	406

※ 短期大学幼児教育学科2年生は、新型コロナウイルス感染症対策の影響で、予定日に調査できず。

<B> 住居・地域

表B-3 住居に満足しているところ(複数回答可)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学	短大			合計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	地域福 祉学科	地域福 祉学科	1年	2年	
1. 家賃が安い	実数	9	15	8	12	44	11	11	8	7	15	70	
	%	12.2%	27.3%	14.3%	25.0%	18.9%	26.2%	26.2%	16.0%	18.9%	17.2%	19.3%	
2. 大家さんや地域の方が優しい・親切	実数	9	11	3	4	27	6	6	8	6	14	47	
	%	12.2%	20.0%	5.4%	8.3%	11.6%	14.3%	14.3%	16.0%	16.2%	16.1%	13.0%	
3. 大学に近い	実数	37	21	19	26	103	18	18	15	15	30	151	
	%	50.0%	38.2%	33.9%	54.2%	44.2%	42.9%	42.9%	30.0%	40.5%	34.5%	41.7%	
4. 新しくきれい	実数	27	9	15	6	57	12	12	11	4	15	84	
	%	36.5%	16.4%	26.8%	12.5%	24.5%	28.6%	28.6%	22.0%	10.8%	17.2%	23.2%	
5. 商業施設に近い	実数	13	4	7	3	27	8	8	5	4	9	44	
	%	17.6%	7.3%	12.5%	6.3%	11.6%	19.0%	19.0%	10.0%	10.8%	10.3%	12.2%	
6. 治安が良い	実数	5	7	1	1	14	6	6	2	3	5	25	
	%	6.8%	12.7%	1.8%	2.1%	6.0%	14.3%	14.3%	4.0%	8.1%	5.7%	6.9%	
7. セキュリティがしっかりしている	実数	6	4	0	1	11	6	6	1	1	2	19	
	%	8.1%	7.3%	0.0%	2.1%	4.7%	14.3%	14.3%	2.0%	2.7%	2.3%	5.2%	
8. 上記以外で満足している	実数	5	2	4	2	13	6	6	8	1	9	28	
	%	6.8%	3.6%	7.1%	4.2%	5.6%	14.3%	14.3%	16.0%	2.7%	10.3%	7.7%	
9. 満足していない	実数	9	2	13	9	33	1	1	5	5	10	44	
	%	12.2%	3.6%	23.2%	18.8%	14.2%	2.4%	2.4%	10.0%	13.5%	11.5%	12.2%	
回答者数	実数	74	55	56	48	233	42	42	50	37	87	362	

表B-4 住居に不満なところ(複数回答可)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学	短大			合計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	地域福 祉学科	地域福 祉学科	1年	2年	
1. 騒音	実数	9	15	8	12	44	11	11	8	7	15	70	
	%	12.3%	27.3%	14.8%	25.0%	19.1%	26.8%	26.8%	16.0%	18.9%	17.2%	19.6%	
2. 臭気(下水の臭いがするなど)	実数	9	11	3	4	27	6	6	8	6	14	47	
	%	12.3%	20.0%	5.6%	8.3%	11.7%	14.6%	14.6%	16.0%	16.2%	16.1%	13.1%	
3. 湿気(カビやすい、洗濯物を乾かしにくいなど)	実数	37	21	19	26	103	18	18	15	15	30	151	
	%	50.7%	38.2%	35.2%	54.2%	44.8%	43.9%	43.9%	30.0%	40.5%	34.5%	42.2%	
4. 温度(暑い、寒い、お湯が出ないなど)	実数	27	9	15	6	57	12	12	11	4	15	84	
	%	37.0%	16.4%	27.8%	12.5%	24.8%	29.3%	29.3%	22.0%	10.8%	17.2%	23.5%	
5. 共有スペース(駐輪場の使い方、ゴミ出しが悪いなど)	実数	13	4	7	3	27	8	8	5	4	9	44	
	%	17.8%	7.3%	13.0%	6.3%	11.7%	19.5%	19.5%	10.0%	10.8%	10.3%	12.3%	
6. 治安	実数	5	7	1	1	14	6	6	2	3	5	25	
	%	6.8%	12.7%	1.9%	2.1%	6.1%	14.6%	14.6%	4.0%	8.1%	5.7%	7.0%	
7. セキュリティ(侵入されやすい、覗かれそうなど)	実数	6	4	0	1	11	6	6	1	1	2	19	
	%	8.2%	7.3%	0.0%	2.1%	4.8%	14.6%	14.6%	2.0%	2.7%	2.3%	5.3%	
8. 上記以外にも不満がある(家賃高い、部屋狭い等)	実数	5	2	4	2	13	6	6	8	1	9	28	
	%	6.8%	3.6%	7.4%	4.2%	5.7%	14.6%	14.6%	16.0%	2.7%	10.3%	7.8%	
9. 特に不満はない	実数	9	2	13	9	33	1	1	5	5	10	44	
	%	12.3%	3.6%	24.1%	18.8%	14.3%	2.4%	2.4%	10.0%	13.5%	11.5%	12.3%	
回答者数	実数	73	55	54	48	230	41	41	50	37	87	358	

表B-5 平日はどこにいますか(複数回答可)

		大学 看護学科					大学 健康保育 学科		大学 地域福祉 学科	短大 地域福祉 学科	合計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年		計
1. 自宅(下宿)	実数	73	53	52	44	222	43	43	48	37	85	350
	%	97.3%	96.4%	94.5%	93.6%	95.7%	95.6%	95.6%	96.0%	100.0%	97.7%	96.2%
2. 友人宅	実数	24	7	5	6	42	20	20	9	4	13	75
	%	32.0%	12.7%	9.1%	12.8%	18.1%	44.4%	44.4%	18.0%	10.8%	14.9%	20.6%
3. スーパーやコンビニ	実数	15	4	5	5	29	13	13	5	2	7	49
	%	20.0%	7.3%	9.1%	10.6%	12.5%	28.9%	28.9%	10.0%	5.4%	8.0%	13.5%
4. 飲食店	実数	0	3	1	4	8	2	2	0	0	0	10
	%	0.0%	5.5%	1.8%	8.5%	3.4%	4.4%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%
5. 図書館	実数	7	8	5	9	29	1	1	0	0	0	30
	%	9.3%	14.5%	9.1%	19.1%	12.5%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	8.2%
6. その他	実数	3	2	2	1	8	3	3	3	1	4	15
	%	4.0%	3.6%	3.6%	2.1%	3.4%	6.7%	6.7%	6.0%	2.7%	4.6%	4.1%
回答者数	実数	75	55	55	47	232	45	45	50	37	87	364

表B-6 休日はどこにいますか(複数回答可)

		大学 看護学科					大学 健康保育 学科		大学 地域福祉 学科	短大 地域福祉 学科	合計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年		計
1. 自宅(下宿)	実数	72	51	48	42	213	42	42	46	35	81	336
	%	96.0%	92.7%	87.3%	87.5%	91.4%	93.3%	93.3%	92.0%	94.6%	93.1%	92.1%
2. 友人宅	実数	24	9	7	11	51	18	18	13	5	18	87
	%	32.0%	16.4%	12.7%	22.9%	21.9%	40.0%	40.0%	26.0%	13.5%	20.7%	23.8%
3. スーパーやコンビニ	実数	17	6	6	5	34	11	11	6	3	9	54
	%	22.7%	10.9%	10.9%	10.4%	14.6%	24.4%	24.4%	12.0%	8.1%	10.3%	14.8%
4. 飲食店	実数	2	4	1	4	11	5	5	1	0	1	17
	%	2.7%	7.3%	1.8%	8.3%	4.7%	11.1%	11.1%	2.0%	0.0%	1.1%	4.7%
5. 図書館	実数	9	10	4	5	28	1	1	2	0	2	31
	%	12.0%	18.2%	7.3%	10.4%	12.0%	2.2%	2.2%	4.0%	0.0%	2.3%	8.5%
6. アミューズメント施設・コンサートホール	実数	4	2	3	5	14	3	3	0	1	1	18
	%	5.3%	3.6%	5.5%	10.4%	6.0%	6.7%	6.7%	0.0%	2.7%	1.1%	4.9%
7. 新見市外に行く	実数	17	7	16	8	48	27	27	9	6	15	90
	%	22.7%	12.7%	29.1%	16.7%	20.6%	60.0%	60.0%	18.0%	16.2%	17.2%	24.7%
8. その他	実数	4	0	1	2	7	3	3	0	2	2	12
	%	5.3%	0.0%	1.8%	4.2%	3.0%	6.7%	6.7%	0.0%	5.4%	2.3%	3.3%
回答者数	実数	75	55	55	48	233	45	45	50	37	87	365

表B-7 新見に生活して良いと思うこと(複数回答可:3つ以内)

		大学 看護学科					大学 健康保育 学科		大学 地域福祉 学科	短大 地域福祉 学科	合計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年		計
1. 交通の便が良い	実数	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	2
	%	0.0%	1.8%	0.0%	2.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
2. 地域の人が親切	実数	18	14	11	15	58	20	20	19	11	30	108
	%	24.0%	25.5%	20.0%	31.3%	24.9%	44.4%	44.4%	38.0%	29.7%	34.5%	29.6%
3. 遊ぶ所が多い	実数	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
4. 物価が安い	実数	0	1	1	1	3	0	0	2	0	2	5
	%	0.0%	1.8%	1.8%	2.1%	1.3%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	2.3%	1.4%
5. 治安上の観点から安心	実数	8	7	4	9	28	5	5	4	2	6	39
	%	10.7%	12.7%	7.3%	18.8%	12.0%	11.1%	11.1%	8.0%	5.4%	6.9%	10.7%
6. 自然環境にめぐまれている	実数	20	23	17	13	73	24	24	21	16	37	134
	%	26.7%	41.8%	30.9%	27.1%	31.3%	53.3%	53.3%	42.0%	43.2%	42.5%	36.7%
7. 町が狭く通学距離が近い	実数	17	10	9	6	42	10	10	7	2	9	61
	%	22.7%	18.2%	16.4%	12.5%	18.0%	22.2%	22.2%	14.0%	5.4%	10.3%	16.7%
8. 勉学に専念できる環境である	実数	28	19	13	24	84	16	16	13	9	22	122
	%	37.3%	34.5%	23.6%	50.0%	36.1%	35.6%	35.6%	26.0%	24.3%	25.3%	33.4%
9. その他に良いと思うことがある	実数	3	1	1	1	6	2	2	1	1	2	10
	%	4.0%	1.8%	1.8%	2.1%	2.6%	4.4%	4.4%	2.0%	2.7%	2.3%	2.7%
0. 良いと思うことはない	実数	19	10	18	4	51	4	4	11	7	18	73
	%	25.3%	18.2%	32.7%	8.3%	21.9%	8.9%	8.9%	22.0%	18.9%	20.7%	20.0%
回答者数	実数	75	55	55	48	233	45	45	50	37	87	365

表B-8 新見に生活して良くないと思うこと(複数回答可:3つ以内)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科	短大 地域福 祉学科	合計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年		計
1. 交通の便が悪い	実数	59	44	51	36	190	35	35	38	22	60	285
	%	78.7%	80.0%	92.7%	76.6%	81.9%	77.8%	77.8%	76.0%	61.1%	69.8%	78.5%
2. 地域の人に親しみを持たない	実数	1	0	3	2	6	2	2	1	2	3	11
	%	1.3%	0.0%	5.5%	4.3%	2.6%	4.4%	4.4%	2.0%	5.6%	3.5%	3.0%
3. 遊ぶ所が少ない	実数	61	43	38	32	174	40	40	27	22	49	263
	%	81.3%	78.2%	69.1%	68.1%	75.0%	88.9%	88.9%	54.0%	61.1%	57.0%	72.5%
4. 物価が高い	実数	34	12	20	17	83	14	14	14	11	25	122
	%	45.3%	21.8%	36.4%	36.2%	35.8%	31.1%	31.1%	28.0%	30.6%	29.1%	33.6%
5. 治安が悪い	実数	7	1	3	2	13	3	3	7	2	9	25
	%	9.3%	1.8%	5.5%	4.3%	5.6%	6.7%	6.7%	14.0%	5.6%	10.5%	6.9%
6. アルバイトしづらい	実数	26	10	9	11	56	13	13	9	2	11	80
	%	34.7%	18.2%	16.4%	23.4%	24.1%	28.9%	28.9%	18.0%	5.6%	12.8%	22.0%
7. 夜に店が早く閉まる	実数	14	21	26	15	76	17	17	13	8	21	114
	%	18.7%	38.2%	47.3%	31.9%	32.8%	37.8%	37.8%	26.0%	22.2%	24.4%	31.4%
8. 勉強に専念できる環境ではない	実数	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
9. その他に良くないと思うことがある	実数	6	4	1	2	13	3	3	3	1	4	20
	%	8.0%	7.3%	1.8%	4.3%	5.6%	6.7%	6.7%	6.0%	2.8%	4.7%	5.5%
0. 良くないと思うことはない	実数	1	2	0	0	3	0	0	1	2	3	6
	%	1.3%	3.6%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	2.0%	5.6%	3.5%	1.7%
回答者数	実数	75	55	55	47	232	45	45	50	36	86	363

表B-9 どこから大学に通学していますか

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科	短大 地域福 祉学科	合計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年		計
1. 新見市	実数	70	48	46	36	200	37	37	41	32	73	310
	%	92.1%	87.3%	80.7%	75.0%	84.7%	82.2%	82.2%	82.0%	86.5%	83.9%	84.2%
2. 高梁市	実数	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	2
	%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.4%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
3. 総社市	実数	1	0	0	1	2	1	1	1	0	1	4
	%	1.3%	0.0%	0.0%	2.1%	0.8%	2.2%	2.2%	2.0%	0.0%	1.1%	1.1%
4. 倉敷市	実数	4	4	1	1	10	1	1	2	0	2	13
	%	5.3%	7.3%	1.8%	2.1%	4.2%	2.2%	2.2%	4.0%	0.0%	2.3%	3.5%
5. 岡山市	実数	0	0	2	1	3	3	3	2	0	2	8
	%	0.0%	0.0%	3.5%	2.1%	1.3%	6.7%	6.7%	4.0%	0.0%	2.3%	2.2%
6. 真庭市・新庄村	実数	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	3
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	5.4%	3.4%	0.8%
7. 鳥取県・島根県	実数	0	2	2	1	5	0	0	0	1	1	6
	%	0.0%	3.6%	3.5%	2.1%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	1.1%	1.6%
8. その他地域	実数	1	1	6	7	15	2	2	2	2	4	21
	%	1.3%	1.8%	10.5%	14.6%	6.4%	4.4%	4.4%	4.0%	5.4%	4.6%	5.7%
無回答・マークミス	実数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	1.1%	0.3%
合計	実数	76	55	57	48	236	45	45	50	37	87	368
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表B-10 新見市外に出かけるときはどこに行きますか(複数回答可)

(表B-9の質問に1と答えた人のみ回答)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科	短大 地域福 祉学科	合計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年		計
1. 岡山市	実数	62	45	38	29	174	36	36	38	22	60	270
	%	88.6%	91.8%	86.4%	85.3%	88.3%	92.3%	92.3%	88.4%	78.6%	84.5%	87.9%
2. 倉敷市	実数	47	23	32	24	126	32	32	19	10	29	187
	%	67.1%	46.9%	72.7%	70.6%	64.0%	82.1%	82.1%	44.2%	35.7%	40.8%	60.9%
3. 高梁市	実数	6	3	2	2	13	3	3	1	2	3	19
	%	8.6%	6.1%	4.5%	5.9%	6.6%	7.7%	7.7%	2.3%	7.1%	4.2%	6.2%
4. 岡山市・倉敷市・高梁市以 外の岡山県内	実数	4	1	4	1	10	3	3	2	3	5	18
	%	5.7%	2.0%	9.1%	2.9%	5.1%	7.7%	7.7%	4.7%	10.7%	7.0%	5.9%
5. 鳥取県	実数	3	2	3	0	8	5	5	1	5	6	19
	%	4.3%	4.1%	6.8%	0.0%	4.1%	12.8%	12.8%	2.3%	17.9%	8.5%	6.2%
6. 島根県	実数	4	3	2	0	9	0	0	2	1	3	12
	%	5.7%	6.1%	4.5%	0.0%	4.6%	0.0%	0.0%	4.7%	3.6%	4.2%	3.9%
7. 広島県	実数	4	4	6	4	18	3	3	1	2	3	24
	%	5.7%	8.2%	13.6%	11.8%	9.1%	7.7%	7.7%	2.3%	7.1%	4.2%	7.8%
8. 近畿	実数	19	4	7	7	37	6	6	2	2	4	47
	%	27.1%	8.2%	15.9%	20.6%	18.8%	15.4%	15.4%	4.7%	7.1%	5.6%	15.3%
9. 四国	実数	4	2	1	3	10	1	1	2	0	2	13
	%	5.7%	4.1%	2.3%	8.8%	5.1%	2.6%	2.6%	4.7%	0.0%	2.8%	4.2%
0. その他	実数	3	4	5	3	15	8	8	3	2	5	28
	%	4.3%	8.2%	11.4%	8.8%	7.6%	20.5%	20.5%	7.0%	7.1%	7.0%	9.1%
合計	実数	70	49	44	34	197	39	39	43	28	71	307

表B-11 新見市外に出かけるときの交通手段は何ですか(複数回答可)

(表B-9の質問に1と答えた人のみ回答)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科	短大 地域福 祉学科	合計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年		計
1. JR	実数	65	47	40	29	181	36	36	41	26	67	284
	%	92.9%	94.0%	88.9%	90.6%	91.9%	97.3%	97.3%	100.0%	89.7%	95.7%	93.4%
2. 自家用車	実数	5	5	6	5	21	6	6	1	3	4	31
	%	7.1%	10.0%	13.3%	15.6%	10.7%	16.2%	16.2%	2.4%	10.3%	5.7%	10.2%
3. 保護者や知人の車	実数	20	2	8	3	33	13	13	3	6	9	55
	%	28.6%	4.0%	17.8%	9.4%	16.8%	35.1%	35.1%	7.3%	20.7%	12.9%	18.1%
4. 高速バス	実数	16	5	9	7	37	11	11	1	4	5	53
	%	22.9%	10.0%	20.0%	21.9%	18.8%	29.7%	29.7%	2.4%	13.8%	7.1%	17.4%
5. バイク・自転車	実数	0	0	2	1	3	0	0	0	1	1	4
	%	0.0%	0.0%	4.4%	3.1%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	1.4%	1.3%
6. その他	実数	0	1	2	1	4	0	0	0	0	0	4
	%	0.0%	2.0%	4.4%	3.1%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
無回答・マークミス	実数											
無回答・マークミス	%											
回答者数	実数	70	50	45	32	197	37	37	41	29	70	304

<C> 学生生活

表C-12 大学への要望(複数回答可)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科	短大 地域福 祉学科	合計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年		計
1. エレベーターを設置してほしい	実数	23	19	12	15	69	22	22	15	5	20	111
	%	30.7%	34.5%	21.4%	31.3%	29.5%	48.9%	48.9%	30.0%	14.3%	23.5%	30.5%
2. 机とイスをもっと良いものにしてほしい	実数	9	4	3	1	17	8	8	0	1	1	26
	%	12.0%	7.3%	5.4%	2.1%	7.3%	17.8%	17.8%	0.0%	2.9%	1.2%	7.1%
3. 図書の貸出冊数と貸出期間を増やしてほしい	実数	7	10	5	2	24	2	2	2	1	3	29
	%	9.3%	18.2%	8.9%	4.2%	10.3%	4.4%	4.4%	4.0%	2.9%	3.5%	8.0%
4. 食堂の営業時間を延長してほしい(朝から夜まで)	実数	31	31	24	14	100	24	24	12	10	22	146
	%	41.3%	56.4%	42.9%	29.2%	42.7%	53.3%	53.3%	24.0%	28.6%	25.9%	40.1%
5. 食堂のメニューを安くしてほしい	実数	33	30	16	11	90	19	19	14	10	24	133
	%	44.0%	54.5%	28.6%	22.9%	38.5%	42.2%	42.2%	28.0%	28.6%	28.2%	36.5%
6. 午後8時の大学施設閉鎖時間を延長してほしい	実数	12	23	20	12	67	23	23	13	9	22	112
	%	16.0%	41.8%	35.7%	25.0%	28.6%	51.1%	51.1%	26.0%	25.7%	25.9%	30.8%
7. 休日も大学施設(1号館・3号館など)を利用したい	実数	12	26	27	10	75	23	23	8	8	16	114
	%	16.0%	47.3%	48.2%	20.8%	32.1%	51.1%	51.1%	16.0%	22.9%	18.8%	31.3%
8. 課外活動をもっと支援してほしい	実数	7	5	4	1	17	4	4	6	2	8	29
	%	9.3%	9.1%	7.1%	2.1%	7.3%	8.9%	8.9%	12.0%	5.7%	9.4%	8.0%
9. 駐輪場を使いやすくしてほしい	実数	19	5	11	4	39	11	11	8	3	11	61
	%	25.3%	9.1%	19.6%	8.3%	16.7%	24.4%	24.4%	16.0%	8.6%	12.9%	16.8%
0. 特に無い	実数	10	4	9	15	38	2	2	12	11	23	63
	%	13.3%	7.3%	16.1%	31.3%	16.2%	4.4%	4.4%	24.0%	31.4%	27.1%	17.3%
回答者数	実数	75	55	56	48	234	45	45	50	35	85	364

表C-13 平日1日あたりの授業を除く勉強時間(予習、復習、課題等)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科	短大 地域福 祉学科	合計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年		計
1. 基本的に勉強しない	実数	19	18	20	5	62	13	13	12	17	29	104
	%	25.0%	32.7%	35.1%	10.4%	26.3%	28.9%	28.9%	24.0%	45.9%	33.3%	28.3%
2. 30分未満	実数	20	5	10	8	43	14	14	7	7	14	71
	%	26.3%	9.1%	17.5%	16.7%	18.2%	31.1%	31.1%	14.0%	18.9%	16.1%	19.3%
3. 30分～1時間未満	実数	22	13	13	6	54	13	13	15	6	21	88
	%	28.9%	23.6%	22.8%	12.5%	22.9%	28.9%	28.9%	30.0%	16.2%	24.1%	23.9%
4. 1時間～2時間未満	実数	10	15	8	6	39	5	5	11	4	15	59
	%	13.2%	27.3%	14.0%	12.5%	16.5%	11.1%	11.1%	22.0%	10.8%	17.2%	16.0%
5. 2～3時間未満	実数	4	2	4	6	16	0	0	4	1	5	21
	%	5.3%	3.6%	7.0%	12.5%	6.8%	0.0%	0.0%	8.0%	2.7%	5.7%	5.7%
6. 3～4時間未満	実数	1	2	0	3	6	0	0	0	0	0	6
	%	1.3%	3.6%	0.0%	6.3%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%
7. 4～6時間未満	実数	0	0	2	3	5	0	0	0	0	0	5
	%	0.0%	0.0%	3.5%	6.3%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%
8. 6～8時間未満	実数	0	0	0	6	6	0	0	0	1	1	7
	%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	1.1%	1.9%
9. 8時間以上	実数	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	5
	%	0.0%	0.0%	0.0%	10.4%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%
無回答・マークミス	実数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	2.7%	2.3%	0.5%
合計	実数	76	55	57	48	236	45	45	50	37	87	368
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



表C-14 授業を除く勉強時間が、質問(13)の回答になった理由(複数回答可)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科	短大 地域福 祉学科	合計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年		計
1. 自分にとって適切またはそれ以上の勉強時間だから	実数	5	12	5	19	41	1	1	9	1	10	52
	%	6.6%	22.2%	8.8%	39.6%	17.4%	2.2%	2.2%	18.4%	2.8%	11.8%	14.2%
2. 大学で課題(宿題)が出ないから	実数	11	2	11	1	25	7	7	7	3	10	42
	%	14.5%	3.7%	19.3%	2.1%	10.6%	15.6%	15.6%	14.3%	8.3%	11.8%	11.5%
3. やる気が湧かないから・勉強したくないから	実数	28	19	28	9	84	16	16	8	12	20	120
	%	36.8%	35.2%	49.1%	18.8%	35.7%	35.6%	35.6%	16.3%	33.3%	23.5%	32.9%
4. アルバイトが忙しいから	実数	23	7	9	5	44	8	8	10	3	13	65
	%	30.3%	13.0%	15.8%	10.4%	18.7%	17.8%	17.8%	20.4%	8.3%	15.3%	17.8%
5. 部活や遊びで忙しいから	実数	2	5	3	3	13	1	1	2	2	4	18
	%	2.6%	9.3%	5.3%	6.3%	5.5%	2.2%	2.2%	4.1%	5.6%	4.7%	4.9%
6. 予習・復習の方法が分からない	実数	3	2	2	1	8	5	5	1	4	5	18
	%	3.9%	3.7%	3.5%	2.1%	3.4%	11.1%	11.1%	2.0%	11.1%	5.9%	4.9%
7. 一人で勉強したくない	実数	1	0	3	1	5	1	1	3	1	4	10
	%	1.3%	0.0%	5.3%	2.1%	2.1%	2.2%	2.2%	6.1%	2.8%	4.7%	2.7%
8. 自宅に勉強できる環境が無い	実数	6	5	2	3	16	0	0	0	0	0	16
	%	7.9%	9.3%	3.5%	6.3%	6.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%
9. 理由は特に無い	実数	23	11	11	12	57	17	17	15	16	31	105
	%	30.3%	20.4%	19.3%	25.0%	24.3%	37.8%	37.8%	30.6%	44.4%	36.5%	28.8%
0. その他	実数	2	2	0	1	5	4	4	5	2	7	16
	%	2.6%	3.7%	0.0%	2.1%	2.1%	8.9%	8.9%	10.2%	5.6%	8.2%	4.4%
回答者数	実数	76	54	57	48	235	45	45	49	36	85	365

表C-15 アルバイトをする時間はいつですか(複数回答可)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科	短大 地域福 祉学科	合計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年		計
1. 平日の朝4時から1限開始まで	実数	5	4	3	2	14	1	1	2	2	4	19
	%	6.6%	7.3%	5.4%	4.2%	6.0%	2.2%	2.2%	4.0%	5.7%	4.7%	5.2%
2. 平日の1限から5限終了まで	実数	1	2	4	2	9	0	0	1	0	1	10
	%	1.3%	3.6%	7.1%	4.2%	3.8%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	1.2%	2.7%
3. 平日の5限終了から22時まで	実数	48	26	25	20	119	25	25	22	12	34	178
	%	63.2%	47.3%	44.6%	41.7%	50.6%	55.6%	55.6%	44.0%	34.3%	40.0%	48.8%
4. 平日の22時から翌日4時まで	実数	2	1	6	4	13	2	2	1	2	3	18
	%	2.6%	1.8%	10.7%	8.3%	5.5%	4.4%	4.4%	2.0%	5.7%	3.5%	4.9%
5. 宿直	実数	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
	%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
6. 土・日・祝日	実数	55	22	27	15	119	32	32	25	13	38	189
	%	72.4%	40.0%	48.2%	31.3%	50.6%	71.1%	71.1%	50.0%	37.1%	44.7%	51.8%
7. 決まった時間は無い	実数	16	8	14	11	49	8	8	14	11	25	82
	%	21.1%	14.5%	25.0%	22.9%	20.9%	17.8%	17.8%	28.0%	31.4%	29.4%	22.5%
8. 大学入学後はアルバイトをしていない	実数	2	6	9	5	22	3	3	5	6	11	36
	%	2.6%	10.9%	16.1%	10.4%	9.4%	6.7%	6.7%	10.0%	17.1%	12.9%	9.9%
回答者数	実数	76	55	56	48	235	45	45	50	35	85	365

表C-16 大学入学後のアルバイトで不満な理由(複数回答可)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科	短大 地域福 祉学科	合計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年		計
1. 雇用主(店主)・他の従業員との人間関係が悪い	実数	12	7	7	6	32	9	9	7	6	13	54
	%	41.4%	25.0%	20.0%	25.0%	27.6%	45.0%	45.0%	29.2%	26.1%	27.7%	29.5%
2. お客とのトラブル	実数	3	4	8	6	21	3	3	4	2	6	30
	%	10.3%	14.3%	22.9%	25.0%	18.1%	15.0%	15.0%	16.7%	8.7%	12.8%	16.4%
3. 納得できない仕事のルールがある	実数	14	5	8	5	32	2	2	5	5	10	44
	%	48.3%	17.9%	22.9%	20.8%	27.6%	10.0%	10.0%	20.8%	21.7%	21.3%	24.0%
4. 急に呼び出される・授業や行事でも休ませてくれない	実数	4	2	6	1	13	3	3	0	3	3	19
	%	13.8%	7.1%	17.1%	4.2%	11.2%	15.0%	15.0%	0.0%	13.0%	6.4%	10.4%
5. 休むときや辞めるときには代わりを探せと言われる	実数	4	4	6	3	17	5	5	8	7	15	37
	%	13.8%	14.3%	17.1%	12.5%	14.7%	25.0%	25.0%	33.3%	30.4%	31.9%	20.2%
6. 大学で勧誘しろと言われる	実数	1	4	7	2	14	1	1	1	2	3	18
	%	3.4%	14.3%	20.0%	8.3%	12.1%	5.0%	5.0%	4.2%	8.7%	6.4%	9.8%
7. 辞めさせてくれない	実数	2	1	2	0	5	0	0	0	0	0	5
	%	6.9%	3.6%	5.7%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%
8. 給料が支払われない・約束よりも少ない	実数	4	0	2	0	6	3	3	1	1	2	11
	%	13.8%	0.0%	5.7%	0.0%	5.2%	15.0%	15.0%	4.2%	4.3%	4.3%	6.0%
9. 仕事以外のことを頼まれる	実数	0	1	1	1	3	1	1	0	0	0	4
	%	0.0%	3.6%	2.9%	4.2%	2.6%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%
0. 大学入学後はアルバイトをしていない	実数	2	7	8	5	22	3	3	4	6	10	35
	%	6.9%	25.0%	22.9%	20.8%	19.0%	15.0%	15.0%	16.7%	26.1%	21.3%	19.1%
回答者数	実数	29	28	35	24	116	20	20	24	23	47	183

表C-17 1ヵ月の生活費はどのくらいですか

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科	短大 地域福 祉学科	合計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年		計
1. 5万円未満	実数	9	15	8	6	38	10	10	14	15	29	77
	%	11.8%	27.3%	14.0%	12.5%	16.1%	22.2%	22.2%	28.6%	41.7%	33.3%	20.9%
2. 5~7万円未満	実数	11	13	9	13	46	9	9	17	6	23	78
	%	14.5%	23.6%	15.8%	27.1%	19.5%	20.0%	20.0%	34.7%	16.7%	26.4%	21.2%
3. 7~9万円未満	実数	19	11	13	12	55	12	12	9	5	14	81
	%	25.0%	20.0%	22.8%	25.0%	23.3%	26.7%	26.7%	18.4%	13.9%	16.1%	22.0%
4. 9~11万円未満	実数	20	7	11	10	48	6	6	4	4	8	62
	%	26.3%	12.7%	19.3%	20.8%	20.3%	13.3%	13.3%	8.2%	11.1%	9.2%	16.8%
5. 11~13万円未満	実数	2	5	5	4	16	4	4	1	3	4	24
	%	2.6%	9.1%	8.8%	8.3%	6.8%	8.9%	8.9%	2.0%	8.3%	4.6%	6.5%
6. 13~15万円未満	実数	8	2	5	0	15	2	2	2	1	3	20
	%	10.5%	3.6%	8.8%	0.0%	6.4%	4.4%	4.4%	4.1%	2.8%	3.4%	5.4%
7. 15万円以上	実数	5	1	3	2	11	1	1	1	1	2	14
	%	6.6%	1.8%	5.3%	4.2%	4.7%	2.2%	2.2%	2.0%	2.8%	2.3%	3.8%
無回答・マークミス	実数	2	1	3	1	7	1	1	2	2	4	12
	%	2.6%	1.8%	5.3%	2.1%	3.0%	2.2%	2.2%	4.0%	5.4%	4.6%	3.3%
合計	実数	76	55	57	48	236	45	45	50	37	87	368
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表C-18 あなたの英語の力はどのくらいとっていますか

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学	短大			合計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	地域福 祉学科	地域福 祉学科	1年	2年	
1. 英検1級相当かそれ以上	実数	0	5	0	0	5	0	0	0	1	2	3	8
	%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	5.6%	3.4%	2.2%
2. 英検準1級相当	実数	1	0	0	1	2	0	0	0	2	1	3	5
	%	1.3%	0.0%	0.0%	2.1%	0.8%	0.0%	0.0%	4.1%	2.8%	3.4%	1.4%	
3. 英検2級相当	実数	14	12	9	11	46	3	3	1	1	2	51	
	%	18.4%	21.8%	15.8%	22.9%	19.5%	6.7%	6.7%	2.0%	2.8%	2.3%	13.9%	
4. 英検準2級相当	実数	13	8	8	9	38	13	13	13	2	15	66	
	%	17.1%	14.5%	14.0%	18.8%	16.1%	28.9%	28.9%	26.5%	5.6%	17.2%	17.9%	
5. 英検3級相当かそれ以下	実数	31	18	26	17	92	20	20	15	13	28	140	
	%	40.8%	32.7%	45.6%	35.4%	39.0%	44.4%	44.4%	30.6%	36.1%	32.2%	38.0%	
6. わからない	実数	16	12	14	10	52	9	9	17	17	34	95	
	%	21.1%	21.8%	24.6%	20.8%	22.0%	20.0%	20.0%	34.7%	47.2%	39.1%	25.8%	
無回答・マークミス	実数	1	0	0	0	1	0	0	1	1	2	3	
	%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	2.0%	2.7%	2.3%	0.8%	
合計	実数	76	55	57	48	236	45	45	50	37	87	368	
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表C-19 自動車の運転免許を持っていますか

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学	短大			合計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	地域福 祉学科	地域福 祉学科	1年	2年	
1. 持っている	実数	37	37	53	44	171	20	20	20	25	45	236	
	%	48.7%	67.3%	93.0%	93.6%	72.5%	44.4%	44.4%	40.0%	67.6%	51.7%	64.1%	
2. いま持っていないが、卒業 までに取得したい。	実数	31	11	2	2	46	22	22	27	9	36	104	
	%	40.8%	20.0%	3.5%	4.3%	19.5%	48.9%	48.9%	54.0%	24.3%	41.4%	28.3%	
3. いま持っていないが、卒業 後に取得したい。	実数	3	4	1	0	8	3	3	0	1	1	12	
	%	3.9%	7.3%	1.8%	0.0%	3.4%	6.7%	6.7%	0.0%	2.7%	1.1%	3.3%	
4. いま持っていない。将来も 取得する予定はない。	実数	1	1	0	0	2	0	0	1	0	1	3	
	%	1.3%	1.8%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	1.1%	0.8%	
5. いま持っていない。将来取 得するかわからない。	実数	4	2	1	1	8	0	0	2	1	3	11	
	%	5.3%	3.6%	1.8%	2.1%	3.4%	0.0%	0.0%	4.0%	2.7%	3.4%	3.0%	
無回答・マークミス	実数	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2	
	%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	1.1%	0.5%	
合計	実数	76	55	57	48	236	45	45	50	37	87	368	
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表C-20 平日の就寝時刻はいつですか

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学	短大			合計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	地域福 祉学科	地域福 祉学科	1年	2年	
1. 0時以前	実数	7	9	16	13	45	5	5	11	9	20	70	
	%	9.2%	16.4%	28.1%	27.1%	19.1%	11.1%	11.1%	22.0%	24.3%	23.0%	19.0%	
2. 0時から2時まで	実数	60	37	35	32	164	35	35	34	24	58	257	
	%	78.9%	67.3%	61.4%	66.7%	69.5%	77.8%	77.8%	68.0%	64.9%	66.7%	69.8%	
3. 2時から4時まで	実数	9	7	5	2	23	5	5	4	3	7	35	
	%	11.8%	12.7%	8.8%	4.2%	9.7%	11.1%	11.1%	8.0%	8.1%	8.0%	9.5%	
4. 4時以降	実数	0	2	1	1	4	0	0	1	0	1	5	
	%	0.0%	3.6%	1.8%	2.1%	1.7%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	1.1%	1.4%	
無回答・マークミス	実数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	1.1%	0.3%	
合計	実数	76	55	57	48	236	45	45	50	37	87	368	
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表C-21 平日の起床時刻はいつですか

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科		短大 地域福 祉学科		合計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年	計		
1. 6時以前	実数	3	6	4	3	16	3	3	6	3	9	28	
	%	3.9%	10.9%	7.0%	6.3%	6.8%	6.7%	6.7%	12.0%	8.1%	10.3%	7.6%	
2. 6時から8時まで	実数	41	33	31	26	131	19	19	30	19	49	199	
	%	53.9%	60.0%	54.4%	54.2%	55.5%	42.2%	42.2%	60.0%	51.4%	56.3%	54.1%	
3. 8時から10時まで	実数	32	16	21	17	86	23	23	12	14	26	135	
	%	42.1%	29.1%	36.8%	35.4%	36.4%	51.1%	51.1%	24.0%	37.8%	29.9%	36.7%	
4. 10時以降	実数	0	0	1	2	3	0	0	2	0	2	5	
	%	0.0%	0.0%	1.8%	4.2%	1.3%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	2.3%	1.4%	
無回答・マークミス	実数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	1.1%	0.3%	
合計	実数	76	55	57	48	236	45	45	50	37	87	368	
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表C-22 1日当たりの運動時間はどのくらいですか

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科		短大 地域福 祉学科		合計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年	計		
1. ほぼ運動していないに等しい	実数	48	42	34	26	150	22	22	30	26	56	228	
	%	63.2%	76.4%	59.6%	54.2%	63.6%	48.9%	48.9%	60.0%	70.3%	64.4%	62.0%	
2. 30分未満	実数	21	9	15	19	64	14	14	10	8	18	96	
	%	27.6%	16.4%	26.3%	39.6%	27.1%	31.1%	31.1%	20.0%	21.6%	20.7%	26.1%	
3. 30分以上1時間未満	実数	6	3	7	3	19	8	8	9	2	11	38	
	%	7.9%	5.5%	12.3%	6.3%	8.1%	17.8%	17.8%	18.0%	5.4%	12.6%	10.3%	
4. 1時間以上	実数	1	1	1	0	3	1	1	1	1	2	6	
	%	1.3%	1.8%	1.8%	0.0%	1.3%	2.2%	2.2%	2.0%	2.7%	2.3%	1.6%	
無回答・マークミス	実数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
合計	実数	76	55	57	48	236	45	45	50	37	87	368	
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表C-23 あなたはたばこを吸いますか

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科		短大 地域福 祉学科		合計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年	計		
1. 喫煙しない	実数	75	52	54	40	221	45	45	48	32	80	346	
	%	98.7%	94.5%	94.7%	83.3%	93.6%	100.0%	100.0%	96.0%	86.5%	92.0%	94.0%	
2. 1日5本未満	実数	0	1	0	3	4	0	0	0	2	2	6	
	%	0.0%	1.8%	0.0%	6.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	2.3%	1.6%	
3. 1日5本以上～10本未満	実数	1	0	1	2	4	0	0	0	1	1	5	
	%	1.3%	0.0%	1.8%	4.2%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	1.1%	1.4%	
4. 1日10本以上	実数	0	2	1	0	3	0	0	0	2	2	5	
	%	0.0%	3.6%	1.8%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	2.3%	1.4%	
5. 禁煙中・以前吸っていた	実数	0	0	1	1	2	0	0	2	0	2	4	
	%	0.0%	0.0%	1.8%	2.1%	0.8%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	2.3%	1.1%	
無回答・マークミス	実数	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	
	%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	
合計	実数	76	55	57	48	236	45	45	50	37	87	368	
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表C-24 自分の健康についてどう感じていますか

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科		短大 地域福 祉学科		合計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年	計		
1. とても健康	実数	13	24	10	16	63	4	4	7	5	12	79	
	%	17.1%	43.6%	17.5%	33.3%	26.7%	8.9%	8.9%	14.0%	13.5%	13.8%	21.5%	
2. まあまあ健康	実数	50	24	35	25	134	38	38	34	27	61	233	
	%	65.8%	43.6%	61.4%	52.1%	56.8%	84.4%	84.4%	68.0%	73.0%	70.1%	63.3%	
3. あまり健康ではない	実数	11	5	10	4	30	3	3	7	5	12	45	
	%	14.5%	9.1%	17.5%	8.3%	12.7%	6.7%	6.7%	14.0%	13.5%	13.8%	12.2%	
4. 健康ではない	実数	2	2	2	0	6	0	0	2	0	2	8	
	%	2.6%	3.6%	3.5%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	2.3%	2.2%	
無回答・マークミス	実数	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	3	
	%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	
合計	実数	76	55	57	48	236	45	45	50	37	87	368	
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表C-25 医療機関または薬について

(表C-24の質問に3または4と答えた人のみ回答)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科	短大 地域福 祉学科	合計	
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年		計
1. 定期的に医療機関を受診している(受診のみ)	実数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%
2. 定期的に医療機関を受診し、薬の処方してもらい内服している	実数	4	2	5	1	12	1	1	3	2	5	18
	%	33.3%	28.6%	41.7%	25.0%	34.3%	33.3%	33.3%	33.3%	40.0%	35.7%	34.6%
3. 市販の薬を内服して対応している	実数	4	1	3	2	10	1	1	2	3	5	16
	%	33.3%	14.3%	25.0%	50.0%	28.6%	33.3%	33.3%	22.2%	60.0%	35.7%	30.8%
4. 医療機関への受診や、薬を飲まなくてもコントロールできている	実数	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	%	8.3%	14.3%	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%
5. 保健室またはカウンセリングを利用している	実数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	7.1%	1.9%
6. 放置している	実数	1	2	4	1	8	1	1	3	0	3	12
	%	8.3%	28.6%	33.3%	25.0%	22.9%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	21.4%	23.1%
無回答・マークミス	実数	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	%	8.3%	14.3%	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%
合計	実数	12	7	12	4	35	3	3	9	5	14	52
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

<D> 安心・安全

表D-26 大学から送られるe-mailはどうか対応していますか(複数回答可)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科		短大 地域福 祉学科		合計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年	計		
1. すぐに読む	実数	34	30	27	24	115	11	11	23	20	43	169	
	%	44.7%	54.5%	48.2%	50.0%	48.9%	24.4%	24.4%	46.0%	55.6%	50.0%	46.2%	
2. メールが届くとすぐにわかる。しかし、後でまとめて読む	実数	15	8	8	8	39	11	11	12	3	15	65	
	%	19.7%	14.5%	14.3%	16.7%	16.6%	24.4%	24.4%	24.0%	8.3%	17.4%	17.8%	
3. メールアプリを起動しないと、メールが届いたことがわからない	実数	17	11	11	6	45	11	11	10	6	16	72	
	%	22.4%	20.0%	19.6%	12.5%	19.1%	24.4%	24.4%	20.0%	16.7%	18.6%	19.7%	
4. メールの件名を見て読むか読まないか判断している	実数	10	3	7	11	31	15	15	8	7	15	61	
	%	13.2%	5.5%	12.5%	22.9%	13.2%	33.3%	33.3%	16.0%	19.4%	17.4%	16.7%	
5. 大学からの連絡を、友人からのLINE等で知ることが多い	実数	3	2	4	2	11	9	9	1	2	3	23	
	%	3.9%	3.6%	7.1%	4.2%	4.7%	20.0%	20.0%	2.0%	5.6%	3.5%	6.3%	
6. メールは読まない。友人からLINE等で教えてもらっている	実数	1	3	0	0	4	1	1	0	0	0	5	
	%	1.3%	5.5%	0.0%	0.0%	1.7%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	
7. スマートフォンのメール設定の仕方がわからない	実数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
8. メールは、パソコンやタブレットPCで読んでいる。	実数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
9. メールは利用していない。	実数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	1.2%	0.3%	
回答者数	実数	76	55	56	48	235	45	45	50	36	86	366	

表D-27 ストーカーやつきまといの被害にあった経験がありますか(複数回答可)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科		短大 地域福 祉学科		合計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年	計		
1. 無い	実数	72	51	47	40	210	42	42	43	35	78	330	
	%	94.7%	92.7%	83.9%	87.0%	90.1%	93.3%	93.3%	87.8%	97.2%	91.8%	90.9%	
2. 知らない人にされた	実数	3	1	2	5	11	2	2	4	1	5	18	
	%	3.9%	1.8%	3.6%	10.9%	4.7%	4.4%	4.4%	8.2%	2.8%	5.9%	5.0%	
3. 知っている人にされた	実数	1	1	5	0	7	2	2	2	1	3	12	
	%	1.3%	1.8%	8.9%	0.0%	3.0%	4.4%	4.4%	4.1%	2.8%	3.5%	3.3%	
4. 相手を目で見て確認できなかった(SNS、電話など)	実数	0	2	3	2	7	0	0	0	0	0	7	
	%	0.0%	3.6%	5.4%	4.3%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	
5. 相手を目で見て確認できた	実数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
回答者数	実数	76	55	56	46	233	45	45	49	36	85	363	

表D-28 ハラスメントを経験したことがありますか(複数回答可)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科		短大 地域福 祉学科		合計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年	計		
1. 無い	実数	72	54	53	41	220	43	43	45	29	74	337	
	%	98.6%	100.0%	96.4%	87.2%	96.1%	100.0%	100.0%	91.8%	93.5%	92.5%	95.7%	
2. アカデミックハラスメントにあった	実数	0	0	1	3	4	0	0	1	1	2	6	
	%	0.0%	0.0%	1.8%	6.4%	1.7%	0.0%	0.0%	2.0%	3.2%	2.5%	1.7%	
3. パワーハラスメントにあった	実数	0	0	0	2	2	0	0	1	1	2	4	
	%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.9%	0.0%	0.0%	2.0%	3.2%	2.5%	1.1%	
4. セクシャルハラスメントにあった	実数	0	0	1	1	2	0	0	2	0	2	4	
	%	0.0%	0.0%	1.8%	2.1%	0.9%	0.0%	0.0%	4.1%	0.0%	2.5%	1.1%	
5. 上記2.~4.以外のハラスメントにあった	実数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	
回答者数	実数	73	54	55	47	229	43	43	49	31	80	352	

表D-29 ハラスメントをいつ受けましたか(複数回答可)

(表D-28の質問に2から5と答えた人のみ回答)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科		短大 地域福 祉学科		合計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年	計		
1. 卒業研究の時間にあった	実数	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	3
	%	100.0%	0.0%	0.0%	40.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
2. 行事とその準備の時間にあった	実数	0	0	1	0	1	0	0	1	1	2	3	
	%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	40.0%	25.0%	
3. 実習とその準備の時間にあった	実数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	
	%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	
4. 上記5.6.7.以外の授業中があった	実数	0	0	0	1	1	0	0	2	1	3	4	
	%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	14.3%	0.0%	0.0%	66.7%	50.0%	60.0%	33.3%	
5. 上記5.6.7.8.以外の時間があった	実数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	
	%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	
回答者数	実数	1	0	1	5	7	0	0	3	2	5	12	

表D-30 令和元年9月新見市集中豪雨、平成30年7月西日本豪雨時の滞在場所は(複数回答可)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科		短大 地域福 祉学科		合計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年	計		
1. 新見市内の自宅(下宿)に1人でいた	実数	17	10	32	19	78	4	4	8	17	25	107	
	%	25.8%	22.2%	61.5%	41.3%	37.3%	10.8%	10.8%	19.0%	60.7%	35.7%	33.9%	
2. 新見市内の友人・知人宅に行った	実数	0	2	3	7	12	1	1	2	1	3	16	
	%	0.0%	4.4%	5.8%	15.2%	5.7%	2.7%	2.7%	4.8%	3.6%	4.3%	5.1%	
3. 新見市内のアルバイト先に行った	実数	8	5	8	4	25	4	4	2	2	4	33	
	%	12.1%	11.1%	15.4%	8.7%	12.0%	10.8%	10.8%	4.8%	7.1%	5.7%	10.4%	
4. 本学に避難した	実数	0	3	13	5	21	0	0	0	1	1	22	
	%	0.0%	6.7%	25.0%	10.9%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	1.4%	7.0%	
5. 本学以外の避難所に避難した	実数	1	1	2	2	6	0	0	1	1	2	8	
	%	1.5%	2.2%	3.8%	4.3%	2.9%	0.0%	0.0%	2.4%	3.6%	2.9%	2.5%	
6. 新見市外にいた	実数	42	26	5	16	89	24	24	26	6	32	145	
	%	63.6%	57.8%	9.6%	34.8%	42.6%	64.9%	64.9%	61.9%	21.4%	45.7%	45.9%	
7. その他	実数	3	2	2	1	8	6	6	5	4	9	23	
	%	4.5%	4.4%	3.8%	2.2%	3.8%	16.2%	16.2%	11.9%	14.3%	12.9%	7.3%	
回答者数	実数	66	45	52	46	209	37	37	42	28	70	316	

表D-31 上記災害時は、どのような状況でしたか(複数回答可)

(表D-30の質問に1から5.または7と答えた人のみ回答)

		大学 看護学科					大学 健康保 育学科		大学 地域福 祉学科		短大 地域福 祉学科		合計
		1年	2年	3年	4年	計	1年	計	1年	2年	計		
1. 外に出るのが怖かった	実数	6	5	14	8	33	4	4	5	7	12	49	
	%	23.1%	29.4%	34.1%	27.6%	29.2%	25.0%	25.0%	29.4%	28.0%	28.6%	28.7%	
2. 避難の準備(避難場所の確認と持って行く物の準備)をした	実数	2	2	9	7	20	1	1	1	3	4	25	
	%	7.7%	11.8%	22.0%	24.1%	17.7%	6.3%	6.3%	5.9%	12.0%	9.5%	14.6%	
3. 避難すべきかどうか判断に迷った	実数	9	8	19	11	47	3	3	4	4	8	58	
	%	34.6%	47.1%	46.3%	37.9%	41.6%	18.8%	18.8%	23.5%	16.0%	19.0%	33.9%	
4. 住んでいる地域の情報が入ってこなかった	実数	4	1	1	0	6	0	0	2	1	3	9	
	%	15.4%	5.9%	2.4%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	11.8%	4.0%	7.1%	5.3%	
5. 大学からのメール連絡になかなか気付かなかった	実数	4	1	2	0	7	3	3	2	1	3	13	
	%	15.4%	5.9%	4.9%	0.0%	6.2%	18.8%	18.8%	11.8%	4.0%	7.1%	7.6%	
6. 親族・友人・本学学生とLINEや電話で連絡を取り合っていた	実数	12	5	32	12	61	8	8	6	11	17	86	
	%	46.2%	29.4%	78.0%	41.4%	54.0%	50.0%	50.0%	35.3%	44.0%	40.5%	50.3%	
7. 親族・友人・本学学生以外の方が連絡や会いに来てくれたりした	実数	2	1	6	3	12	3	3	2	3	5	20	
	%	7.7%	5.9%	14.6%	10.3%	10.6%	18.8%	18.8%	11.8%	12.0%	11.9%	11.7%	
8. 特に何も思わなかった	実数	10	2	1	4	17	3	3	3	9	12	32	
	%	38.5%	11.8%	2.4%	13.8%	15.0%	18.8%	18.8%	17.6%	36.0%	28.6%	18.7%	
9. その他	実数	1	1	0	0	2	4	4	2	2	4	10	
	%	3.8%	5.9%	0.0%	0.0%	1.8%	25.0%	25.0%	11.8%	8.0%	9.5%	5.8%	
回答者数	実数	26	17	41	29	113	16	16	17	25	42	171	

## あとがき

学生生活実態調査は、本学学生生活の実態を詳らかにすることで学生生活支援の糧とするため数年おきに実施しており、直近の第4回調査(先行調査)は昨年2019年10月に実施しました。

先行調査では、量的制約もあって完全四年制大学化に向けた諸整備に対する学生の意見を十分に把握することができなかったほか、先行調査結果を踏まえ更に踏み込んだ質問を行う必要が生じたことから今回、追加調査を実施いたしました。その結果、度重なる調査であるにもかかわらず、90%の学生から回答を得ることができました。ここで簡単にその概要を述べます。

まず、住居(下宿先)について学生は、大学から近い、新しく綺麗な物件を希望している一方で、現物件に対しては室内の温湿度に不満を抱えていることなどが明らかになりました。

次に、学外の居場所については、平休日ともに大半の学生が自宅か友人宅で過ごしていますが、休日は4分の1の学生が市外へ出掛けていることが分かりました。なお、新見での生活は自然環境に恵まれ、勉強に専念しやすい反面、遊ぶところが少なく、交通の便が悪いと考えていることも分かりました。

さらに、大学への要望は、エレベーターの設置など建物設備に関する事、大学設備の利用拡大に関する事、学生食堂に関する事などが多くみられました。

変わって、学生の1か月の生活費は9万円以下が多く、中には5万円以下もみられました。先行調査結果を踏まえ、学生の生計維持にかかるアルバイトの重要性を認識させられました。

また、先行調査ではメールを使用しない学生の増加が指摘されましたが、本学からのメールをすぐに読む学生が約半数いる一方で、すぐには読まない、自己判断で読む読まないを決める学生も約半数いることが分かりました。今後、早急な検討を要することは言うまでもありません。

最後に、2年続けて見舞われた豪雨災害について当時市内にいた学生の多くが自宅、友人宅もしくはアルバイト先で過ごし、大学や避難所へ避難した学生は少なかったことが分かりました。また、災害発生時の状況について避難すべきか迷った学生が相当数おり、半数以上の学生が友人などとLINEや電話で連絡を取り合っていました。

今回の追加調査結果からは学生の詳細な生活実態を把握することができ、完全四年制大学化に向けたハード面、ソフト面の整備に大きな示唆を得ることができました。また、奇しくも追加調査の実施期間は新型コロナウイルス感染症が国内に広がりつつある時期と重なり、現在、大学として喫緊の対応を迫られているところでもあります。図らずも今回の調査結果をコロナ禍での学生生活支援に活用できればと考えています。

改めて今、本学は完全四年制大学化に向けて大きな節目を迎えています。先行調査を短期大学閉学にあたるメモリーとするならば、追加調査結果は短大生を含む現役学生から新生新見公立大学生へ向けたエール・メッセージだと言えるでしょう。調査結果を真摯に受け止め、四年制大学を完成させることが全教職員の使命であることを心に致すばかりです。

最後に、ご協力いただきました学生諸氏および教職員の皆様に心底から御礼を申し上げます。

2020年3月



◇学生生活実態調査代表者

学長 公文裕巳

◇報告書編集責任者

齋藤健司(学生部次長)

佐藤伸隆(地域福祉学科)

◇質問紙作成・集計・分析・執筆

学生生活委員会 安達雅彦(学生部長・学生生活委員長)

齋藤健司(学生部次長)

杉本幸枝(看護学科)

栗本一美(看護学科)

八尋茂樹(幼児教育・健康保育学科)

竹下可奈子(幼児教育・健康保育学科)

佐藤伸隆(地域福祉学科)

木下由梨枝(地域福祉学科)

真治将史(学務課)

追記〔経過報告〕

昨年度に実施した「第4回学生生活実態調査」(2019年10月実施)及び「第4回学生生活実態調査 追加調査」(2020年1月実施)では、日常の通信手段としてメールを使用しない学生の増加が明らかになり、本学からのメールについてもすぐに読む学生が約半数いる一方で、すぐには読まない、あるいは自己判断で読む読まないを決める学生も約半数いることが分かりました。

大学からのメールは、学務課をはじめ教職員から学生への主要な連絡手段であるばかりでなく、災害時や緊急時の安否確認方法としても活用していることから、大学として早急に対策を検討する必要性に迫られていたところです。

折しも、追加調査実施後に生じた新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、学生への連絡通信手段の確保を喫緊の課題として検討した結果、ユニバーサルパスポートや Microsoft Teams を使った連絡が増えました。その結果、現在では追加調査実施時と比べて、大学からの情報伝達および学生からの相談対応の環境が改善されています。

2020年8月

学生部長(報告書編集責任者) 斎藤健司  
学生生活委員会 委員長 栗本一美